新京日日新聞
夕刊
四月二十七日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河琴忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越内之介

御奉迎日和なごやかに
三笠宮殿下御來京
軍裝の御英姿も凛々しく
國都に最初の御印象

陸軍士官學校に御在學中の三笠宮殿下には校長山田乙三中將を旅行隊長とする本科四十八期生三百九十三名と御ともに滿鮮地方御視察のため廿一日東京御出發、二十三日午前七時釜山御上陸朝鮮各地を御視察、廿五日午前十時五十五分滿洲の地に第一歩を印させられ安奉線沿線の戰蹟を親しく御見學、二十七日午前八時奉天を御出發沿道各地日滿官民の御奉迎をうけさせられつゝ同日午後二時三十分滿洲國皇帝陛下と御對面以來御憧憬の國都新京に御到着あらせられた

中央通りを埋めた
日滿官民の歡迎
直ちに忠靈塔御參拜

〝〟御迎へ申上げる殿下を〝〟國都は前日來の胡砂吹く烈風もぴたりとやんでなごやかな陽光は各戸にひるがへる日の丸の國旗に照り映へて宮樣を御迎へ申し上げるにふさわしき絶好の天氣である、午後二時までに殿下を御奉迎申上げる各學校生徒兒童各種團體は陸積と中央通り兩側所定の位置に集合、一方關東軍參謀長板垣征四郎少將、小笠原飛行本部隊長、東條關東憲兵隊司令官、小見山新京警備司令官以下在京各部隊長濱田駐滿海軍部司令官、武部關東局總長を始め日本側勅任官滿洲國々務總理張景惠氏を始め各部大臣各參議等特任官日本側各文武官は禮裝に威儀を正して第三ホームに整列

〝〟日本側〝〟各團體代表滿洲國側各團體代表は第一ホームに整列諸員肅然として御到着を御待ち申上げるうち正午後二時三十分特別列車はぴたりとプラットフォームに停車した、水を打つた樣な靜けさである、殿下には最後部展望車から國都に第一歩を印させられた、仰ぎ拜せば殿下には陸軍騎兵軍曹の御軍裝も凛々しく御附武官森中佐を隨へさせられ長途の御旅行にいさゝかの御疲勞の御樣子もなく板垣關東軍參謀長を始め日滿文武顯官の最敬禮に對し一々

〝〟御會釋〝〟を賜はりつゝ稲川新京驛長の御誘導にて地下道を御通過第一フォームに整列せる日滿各種團體に御會釋を賜ひて驛貴賓室に入らせられ板垣關東軍參謀長、小笠原、東條、小見山各司令官、在京各部隊長濱田駐滿海軍部司令官、滿洲國張國務總理、各部大臣、參議等特任官、中野總領事代理、河本滿鐵理事、武田地事所長、伊藤鐵事出張所長、五十嵐鄕軍聯合分會長、石崎商議會頭、清水居留民會長、小松區長代表、矢澤教育團代表等約六十名に謁を賜ひ午後三時

〝〟自動車〝〟鹵簿にて中央通に堵列せる沿道の各學校生徒兒童各種團體に御會釋を賜ひつゝ忠靈塔に向はせられた

三笠宮奉天忠靈塔御參拜

藥品、アルミ等の
關税率引上げ決定
特別議會劈頭に上程されん

【東京國通】大藏省では廿五日藏相官邸で關税調査委員會を開催、懸案のアルミニウム帶鐵、アスピリン、その他醫療藥品關税引上げを審議したが、藥品は一律に現行五分を從價三割五分に、帶鐵は從價五分を二割乃至二割五分に、アルミニウムはこれ亦現行五分程度を從價二割乃至三割に引上げを決定、香油關税、香料關税引上案と共に特別議會劈頭提案することとなつた

植田司令官
チチハル各部隊巡視

【チチハル國通】初巡視の爲廿五日赴齊一夜をチチハルホテルに明した植田軍司令官は今村參謀副長以下を從へ午前九時ホテル發安岡〇〇團司令部に向ひ安岡〇〇團長より管下軍情の報告を聽取した後引續き〇〇隊、憲兵隊、衛戍病院を巡視し衛戍病院では親しく入院中の職傷兵を慰問、同十一時ホテルに引返し午餐少憩後午後零時四十五分ホテル發沿道嚴戒の中を自動車を連ねて昂々溪に向ひ大串〇〇隊司令部を巡閲、同三時半チチハルに歸着した

なほ午後六時より植田軍司令官以下今村副長等はチチハルホテルに於る在齊日滿官民代表の招宴に臨む筈である

魚族習性研究の
共同調査委を設置
再開の日ソ漁業交渉に提議

【東京國通】ソ聯の不誠意なる態度により停頓中の日ソ漁業交渉は近く再開される豫定で、同交渉に於て大田大使は漁區安定、競賣制廢止、ルーブル換算率改訂等に就て更に我が根本主張の解決に努力する筈であるが、帝國政府としては最近北洋に於る魚族の漸減傾向に鑑みソ聯の河川漁業禁止要求を堅持するは勿論であるけれども更に魚族保護の先決問題たる魚族の習性に就き學術的研究を實施する爲め專門學者を網羅する日ソ共同調査委員會を設置する案を提唱することとなつた、右我方の提議に對してはソ聯側に於ても反對すべき根據なく若し實現することとなれば北洋漁史上に劃期的成果を收むべく又現下の兩國關係に鑑み政治的にも明朗性を加へるものと多大の關心を持たれてゐる

特別議會開會近づく
法案の圓滑な處理と
閣僚間の緊密統一
―廣田内閣の特別議會對策―

【東京國通】第六十七特別議會は廣田内閣にとつて最初であるため政府も凡有る意味からこれを重視し萬全の對策を講じてゐる、即ち今次の特別議會は會期僅かに三週間の短期間に拘らず提出される法案は卅餘件の多きに達し豫算案審議と共に活潑なる論爭を展開するものと思はれる、これに對する政府の對策としては先づ各法案の可及的圓滑なる處理を圖ると同時に質問に對する各閣僚の答辯に關しては齋藤、岡田兩内閣に於るが如き閣僚同志の不統一を暴露しないよう豫めその打合せに愼重を期してゐる、次に廣田内閣は庶政一新を一枚看板として遲くも特別議會終了後には各般の改革事業に着手すべき事を聲明してゐるので、今議會では當然之等の政綱を政府が如何樣に具體化するかに就て相當突込んだ質問が行はれるべく、此點に關しては内閣成立日尙淺く具體的答辯困難なので政府としては結局可成り抽象的な答辯を繰返し、差當り緊要なものに就てはこれを遲くも此多の通常議會で實現すべきことを約束し、これによつて一應今度の特別議會を切り拔けようとの方針を採るものと觀られてゐる

貴族院の空氣

【東京國通】特別議會の召集も日睫に迫つたので貴族院各派でも議會に臨む對策を進めて居るが貴族院の一部では今議會の衆議院が無產者外一部を除く民政、政友其他何れも與黨又は準與黨の好意的立場にある特異的な情勢にあるため衆議院では政府に對する質問攻擊も特に差控へ勝ちとなり議案其他の審議に就いても愼重を缺く恐れなしとしないのでこう云ふ際にこそ貴族院としての職責を誤らぬ樣嚴正公平の立場で充分審議をしなければならぬと主張し、相當突込んだ質問をしやうとしてゐる向きもあり、さりとてそれは反政的空氣でなくかへつて庶政一新の風潮に乘じ黨派的立場を離れて政府將來の施政の上に鞭撻、督勵の意味を含めたものと見られて居る、從つて寺内陸相に對する肅軍問題、馬場藏相に對する財政問題等は相當深刻なる質問が行はるべく其他庶政一新を始め統制經濟問題各種重要法案等に對しても幾多の議論が出る模樣だが然し大體に於て時局に鑑み今議會の圓滿通過に各派とも努力せんとして居る

靖國神社臨時祭
いとも壯嚴に執行はる

【東京國通】護國の英靈九百七十四柱を新たに合祀する靖國神社臨時祭第一日の廿六日は朝來非常な賑ひを呈した、此日祭典は午後三時淸祓、合祀報告祭を執行次いで招魂式は午後八時よりいとも壯嚴に執行された式場には近衛步兵第三聯隊よりの儀仗兵、關係部隊等の代表者及び在京陸海軍各官衙學校並に在京近衛第一師團各部隊の勅奏任官各總代及び判任官各總代、戸山學校軍樂隊並に新合祀者遺族三千四百名が參列、先づ壯重な軍樂隊の奏樂裡に賀茂宮司以下係員の奉仕の下に祭典は始められ賀茂宮司は神官と共に本殿に參進、總扉を開き祭神奉遷祝辭を奏した後招魂庭に到れば赤々と燃えてゐた篝火は一齊に消され、この時靜かに軍樂隊の奏樂で森嚴の氣充つる中を靈璽を奉戴して本殿に奉遷し護國の英靈は神殿に奉安された

斯くて再び燈火は點ぜられ玆に不滅の武勳に輝く九百七十四柱の英靈は永久に神鎭りて招魂式は嚴かに終了した、尙は廿七日は勅使參向、廿八日は直會の儀、廿九日より三日間に例祭が行はれる

栗山條約局長
滿洲視察より歸國

【門司國通】滿洲治外法權撤廢の具體案打合せ並に現地視察の爲渡滿中であつた栗山條約局長は廿六日朝熱河丸で海路歸國したが、同局長は船中で左の如く語つた

治外法權の内、課稅、產業の一部、行政權撤廢は愈々七月一日より實施される事となつたが、在留邦人はよく諒解してをり不安はなく大丈夫だ、その次に行はれる警察權、行政權等の撤廢に就ては目下順調に進捗してゐる

なほ同船で新任ベルギー大使來栖三郎氏も滿洲視察を終へ歸來したが、同氏は五月十四日横濱出帆の淺間丸でアメリカ經由赴任の豫定である

肅軍、庶政一新、國防の强化
國民の協力を要望
特別議會で陸相闡明

【東京國通】特別議會に提案すべき陸軍關係の法律案は何等目星しいものなく唯今次事件に關し寺内陸相の説明する事件概要がどの程度に核心に觸れるかと言ふ事と肅軍と不可分關係にある國政一新がどの程度の積極的迫力を以て闡明されるかと言ふことに重大な關心が拂はれてゐる

而して陸軍に於ては議會を通じて一般國民に陸軍の意圖するところを率直に披瀝し、肅軍の達成に好意ある支援と國政一新への積極的協力を希望すべしとの意向が強いので寺内陸相としては特別議會で二・二六事件の外貌と眞相とを出來得る限り詳細に説明する方針であり更に陸相就任の重大使命の一としてゐる軍備の擴充に就てもその意圖するところの大要を説明し、軍事豫算の膨脹が將來必至である旨を率直に闡明する筈である

即ち曩にソ聯政府によつて公式に表明されたソ蒙相互援助條約並にハイラル通ソ事件の裏面に潜むソ聯側の積極的進攻態度、滿蒙、滿ソ國境に頻發する紛爭事件、極東赤衛軍の增强と國境軍備施設の强化支那共產軍への積極的支援による支那海境の赤化の事實等々は滿洲國の國境を著しく脅威し、同國の治安を攪亂せしめるのみならず、惹いては大陸に於る國防第一線を脅威する結果となり、之に對應する國防の途は我國力の充實、國防の强化以外に途なしとの見解を力強く説明し以て國民の協力を要望する方針である

不祥事件關係は
政府の説明以外公表禁止

【東京國通】來るべき特別議會で今次の不祥事件に關する質疑が當然行はれるものと豫想されるが、不祥事件に關しては現在戒嚴司令部發表以外は一切報道、通信を禁止されてゐるので特別議會に於ても政府の説明以外は公表を禁ぜられる譯であるが、政府としては議會尊重の建前から出來得る限り質疑應答を自由にならしめる方針を持し不祥事件に關聯する質疑應答の場合には政府はその都度秘密會を要求して一般への公表を防ぐ方法を講じ、又秘密會によらずして本會議或は豫算總會等の席上に於て質疑應答を行ふ場合には速記錄中當該質疑應答の部分を官報に掲載する事を禁ずる旨を議長から宣告して其公表を防ぐ事に方針を決定した、但し此場合と雖も速記錄自體は中止さるべきものでなく唯速記錄の一部を議長の職權によつて官報から削除する譯で之は從來共外交、軍事等に關する質疑應答に於て數度の前例がある

無條約海軍の整備
議會で懇切に説明

【東京國通】國民が最も關心を寄せる所は將來の國防計畫と之に伴ふ海軍豫算であるが海軍では來るべき特別議會に於て無條約海軍の整備を出來る限り懇切に説明し將來の海軍豫算に就ては左の點を强調せんとして居る

一、十二年度豫算は本年度豫算に比して相當の增加を示すかも知れないが條約が繼續した場合に於ても當然增加を來すべきものが相當包合されて來る

一、日本は自ら建艦競爭をリードする意思は全くないが若し英米が代艦計畫を樹立するが如き場合には豫算の膨脹は不可避で國民としても充分の覺悟をしてもらはねばならぬ

國務院會議

二十七日の國務院會議に於ける議案は左の通りである

一、臨時產業調査局の内部の分科を官制中に規定する爲同局官制中改正の件

二、遞信局に電氣計器の檢定を爲す專門技術官を置く爲同局官制中改正の件

三、綿羊改良場の人員の增加並に改良場の增設を爲さんとし之が爲綿羊改良場官制中改正の件

四、治安の狀況に鑑み治安工作を繼續する爲康德三年度一般會計第二準備金より四四九、二四五圓を支出するの件

五、人事
濱江省公署民政廳長　李叔平
轉任民政部土木司長敍簡任二等

關東軍の
天長節行事

二十九日の天長節に關東軍では午前八時半より觀兵式同十時より司令部で御眞影拜賀式を擧行する

御眞影拜賀式は
時刻を嚴守

新京總領事館に於て行はるゝ天長節當日御眞影拜賀式は午前九時三十分から同十時三十分までの間に行はれる、當日はあとにいろいろの行事を控へてゐる關係上、時間を嚴守されるから遲刻なぞの無いことを希望すると

第卅回孔子祭
盛大に擧行

【東京國通】恒例の斯文會第卅回孔子祭は廿六日午前九時より伏見總裁宮殿下御代理博義王殿下の御臨席を仰いで本鄕湯島聖堂で盛大に催された この日副會長德川圀順が祭主となり來賓廣田首相、潮内相、平尾文相、松平宮相、中國大使その他名士學者が參列、嚴肅な儀式を擧行、同十一時半散會した

宇垣總督
歸任の途に就く

【東京國通】宇垣朝鮮總督はその進退を注目されて居る折柄、去る十三日入京以來各方面と往來、その用務を終へたので二十六日午後三時東京驛發家族を東京に殘し單身歸任の途についた

ダ海峽問題
商議參加を
トルコに通告

【東京國通】トルコ政府の要請に依るダ海峽問題商議に對しては日本政府は廿四日の閣議に於て正式に參加態度を決定したので有田外相は廿五日午前駐日トルコ大使ゲレデ氏の來訪を求め外務省に於て堀内次官より覺書を以て日本政府の意向を傳達せしめた、而して海峽會議は海峽防備問題、海峽自由航行問題等も當然イタリー並にブルガリヤ政府の反對に遭ふべき運命にあり且黑海にある赤軍艦隊の海峽自由出入問題等直接日本に影響すべき諸重要問題をも内包するところより極めて重大視されてゐる

人事往來

▲河本滿鐵理事　二十七日午前八時五十分歸京
▲伊東中將一行六名　同午後一時三十二分大連へ
▲小見山少將(新京警備司令官)同午前六時二十五分ハルビンより
▲仁橋關東州廳保安課長　同八時五十分大連より
▲金岡少佐　同午前奉天より
▲今城說次氏(滿洲特產中央會)二十七日午前來京國都ホテル
▲宮下靜一郎氏(材木業)同
▲中川喜久氏(沖田電線株式會社)二十六日午後大連へ
▲國崎裕氏(日本生命朝鮮支店長)同
▲藤木正雄氏(同社員)同
▲安池重藏氏(同)同
▲三角泰造氏(東京工業大學講師)同午前來京國都ホテル
▲芝喜代一氏(大日本鹽業會社重役)同
▲增山成夫氏(日本レイヨン會社)同午後同
▲平岩林氏(會社員)同
▲市川宗助氏(奉天商工銀行專務)同
▲杉本整治氏(高岡組)同
▲加藤四郎氏(滿拓)同
▲吉賀桃一氏(羅紗商)同
▲湯淺三二郎氏　同
▲柏崇男一氏(滿洲國官吏)同
▲田中友道氏(航空兵中佐)同
▲島崎庸一氏(安東航政局官吏)同
▲湯淺龍二氏(大阪府囑託)同
▲熊本俊典氏(農業)同
▲奥田保邦氏(會社員)同來京名古屋ホテル
▲眞繼俊一氏(同)同
▲山下義晴氏(陸軍大佐)同
▲山田馬次郎氏(會社員)同
▲杉浦眞作氏(石材商)同
▲二國三樹三氏(三菱社員)同
▲堀江常公氏(商業)同
▲楠井伊三郎氏(同)同
▲梅原冬樹氏(軍屬)同
▲渡邊通榮氏(撫順セメント社員)同
▲池田介尹氏(滿鐵)同
▲赤塚眞澄氏(奉天大同產業)同
▲羽田野平三氏(滿洲國官吏)同張家灣へ
▲眞部善雄氏(土建業)同ハルビンへ
▲宮本源太郎氏(會社員)同
▲平野番氏(滿鐵)同
▲伊藤喜八郎氏(滿洲國官吏)同ハイラルへ
▲船崎甚平氏(實業)同來京ヤマトホテル
▲大島高精氏(教授)同
▲島永太郎氏(陸軍中將)同
▲高倉順一郎氏(秘書)同
▲四方辰治氏(滿鐵)同
▲萩原一郎氏(會社員)同
▲貝瀨謹吾氏(技術協會長)同
▲小山朝佐氏(滿鐵)同
▲清水賢雄氏(滿鐵)同
▲橋詰永太氏(漁業)同安東へ
▲日野篤三郎氏(洋畫家)同市内へ
▲大石榮三郎氏(長崎市會議長)同大連へ
▲根橋禎一氏(滿鐵)同吉林へ
▲岩城寒季氏(軍人)同旅順へ
▲高渡虎雄氏(滿鐵)同ハルビンへ
▲岩村清一氏(軍人)同旅順へ
▲山田達也氏(同)同
▲西田正雄氏(同)同
▲及川古志郎氏(同)同
▲藤川勇氏(商業)同大連へ
▲染谷保藏氏(盛京時報社長本社代表)二十七日來京ヤマトホテル
▲出光滿洲國門司名譽領事　二十七日來京

團體

▲奈良縣師範學校生七十名　二十七日午後二時四十分大連へ

白熱の坩堝と化した昨日の野球大會

本社主催 第三回 新京硬式野球大會 第三日

白球の一投一打に 陶然、醉ふ大觀衆

舊、新廳舍、鐵道軍勝ち殘り 優勝戰は日滿定期戰宛ら

本社主催の第三回新京野球大會は回を重ねるに從ひファンを熱狂さす白熱戰が展開されたが、出場八チーム中優勝を豫想された初陣の電々新人、同OBが豫想を裏切りもろくも敗退、又電業、中銀も破れ、前年の覇者舊廳舍、新廳舍、鐵道、新京地方部がいづれも一勝、優勝を目指して頑張つてゐる等いづれが最後の榮冠を獲得するか興味津々たるものがある、組合せの結果準決勝戰が鐵道對地方部、新廳舍對舊廳舍で兩軍ともに同志討であることは不幸の極みであらう、併し大會の最後を飾る優勝戰が滿洲國對新京倶樂部の觀となり、この一戰こそは日滿定期戰を髣髴させるものでファンは自然と附屬地對滿洲國と二派に別れ聲援をするので一層人氣を高めるであらう

野手の凡失續出に 電々軍潰滅す

水原の一打から六回表の猛撃 滿洲國新廳舍勝つ

源川榮二

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
電々	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
新廳	0	0	0	0	0	6	0	0	A	6A

滿洲國新廳舍對電々の第二次戰は杉谷、吉井、梅本、藤田四審判の下に午後一時五〇分開始された

果然！投手戰へ

兩軍のラインアップを見るに新廳舍は中野、横內、井手の三新人を加へ、水原老將自ら捕手の役目を買つて出るの萬能選手振りを發揮し、電々は明大及び大連實業團にあつて良くその剛球を以て知られたる鈴木主將自ら投手板を死守すべくプレートに立ち、早大出身にてこれ又大連實業團の重鎭たりし大月、白岩の兩君にて二壘遊撃を堅めるの陣振りにて本大會の白眉たる熱戰を豫想され、萬餘の觀衆の熱心なる觀戰裡に戰ひの火蓋は切られた

鈴木投手は打者の眞向から進めよせる大上段の太刀先をみて、新廳舍の面々も容易にチャンスを掴み得ず危氣なき投球振りを示し、一方新人中野投手は早大にありて捕手をつとめ今春卒業したるものにて畑違ひの投手に如何なる力を現はすや疑問視されたるにスピードはそれ程でもあらざりしも程良きコントロールと曲球に敵の虚を衝く仲々うま味ある投球振りを示し果然投手戰を現出するに至つた

新廳舍大量得點

六回に入るまで兩軍の安打僅かに二本勝負の歟逆睹し難き白熱戰を演じて後半に入つた六回電々大月二越單打を放ちチャンス見舞ふ荒木は一邪飛に倒れしも大月二盗に成功し永野の四球に中島の一打を期待されしも三振して無爲なりしに反し、新廳舍佐々木四球に生き鎌田の遊撃をつく猛烈なゴロも大月の好捕にあはや重殺なりしを思はしめたるも二壘に暴投一者を生し、中野三度バンドに失敗一死となりたるも打者は老巧水原を迎へ

電々重大なるピンチに襲はる水原の一打は中堅の左を流れる大きな飛球となれば中堅手足遲く安打と爲し、二者を生還し、野手の連絡惡しき中に水原三壘に入る次打者森川の左飛も野手の凡失に安打となし水原生還、森川二進し更に投手牽制球の後逸に三進し木村の三飛失に生還、鈴木の左翼線に沿ふ飛球も左翼手又々目測を誤り三壘打となり木村生還井手に代りたる橋本三振に二死となりしも横內の二飛低球に鈴木も還り佐々木の中堅右の飛球も又々野手の見當違ひから一度グローブに入つた球を彈き三壘打となし横內生還一擧六點の思はざる大量得點に惠まれ、この回電々は外野手の全然素人なるを曝露し本來平凡たるべき飛球をみすみす安打となし如斯き得點を許したるものにて外野手の失策が如何に高價なるやを如實に示したるものにて鈴木の折角の好投も全然無駄となり電々の攻擊陣に如何に奮闘するも七點の負擔は重かるべく恐らくこの回が試合の山にて勝敗は定りたるものと云ふべし

電々軍奮起空し

七回に入り電々も奮起しラスト中村の三遊間安打を劈頭に大月の左翼線に沿ふクリーンヒットに二點を挽回攻擊力の一端をうかゞわしたるのみにて最後の攻擊も空しく七A對二で電々敗る

〔經過〕

一回(電)白岩四球、田村一飼、鈴木四球、大月投飼、荒木二飼、(新)横內二飼失に生き佐々木四球、鎌田、中野共に三振、横內三盗せしも水原左飛に終る

二回(電)永野投飼、中島三振、小口四球に出しも中村三振、(新)森川中飛、木村三飼、鈴木投飼

三回(電)白岩三飼、田村中飛、鈴木投手强襲安打、鈴木二盗、大月投飛、(新)井手二飼、横內投飼佐々木二飼

四回(電)荒木三飼、永野捕手のパスボールに生き二盗中島三振、小口三振、(新)鎌田四球、中野バンドに鎌田封殺、水原三振、森川遊飼失に生き森川打者の時中野三盗を企て刺さる

五回(電)中村遊飼 白岩四球、田村三振、鈴木二飛、(新)森遊飼、鈴木投飼、井手右前安打、横內二飼惡投に生き其間井手三盗を企てたが一壘手の好投に刺さる

六回(電)大月二壘越安打、荒木一邪飛 大月二盗、永野四球、中島三振、小口遊直にチャンスを逸す(新廳舍井手退き橋本はかる鈴木(一)水原(一)森川(捕)佐々木四球にかはる)(新)佐々木四球、鎌田遊飼に佐々木を封殺せんとしたが二壘手の落球に生き中野三振水原左中間三壘を放ち佐々木、鎌田共に生還、森川左翼深く打ち上げ野手ハンブルに生き其間水原生還、木村三飼失に生還、橋本三振、横內二飼に生き續く鈴木左翼線上三壘打を放ち森川、木村共に生還、佐々木中越三壘打に出たが鎌田中飛この回大量六點獲得

七回(電)中村三壘エレグランド 白岩左飛 田村捕逸鈴木三振、大月左翼線に沿ふ安打に中村、田村生還二點をかへす荒木三直球(新)中野遊飼、水原中飛、森川遊飼

八回(電)永野左飛、中島、小口三振(新)木村遊飼 鈴木三飼、橋本遊飼

九回(電)中村三振、白岩、鈴木中飛

電々	打	得	安	犠	盗	三	四	失	殘
4 白岩	2	0	0	0	0	0	3	2	2
5 田村	5	1	1	0	0	0	0	0	1
1 鈴木	4	0	1	0	1	1	1	0	1
6 大月	4	0	2	0	1	0	0	2	1
7 荒木	4	0	0	0	0	0	0	0	0
3 永野	3	0	0	0	1	0	1	1	2
2 中島	4	0	0	0	0	3	0	0	0
9 小口	3	0	0	0	0	2	1	0	1
7 中村	4	1	1	0	0	2	0	0	0
	33	2	5	0	3	8	6	5	8

新廳舍	打	得	安	犠	盗	三	四	失	殘
4 横內	5	0	0	0	1	0	0	0	3
6 佐々木	2	1	1	0	1	0	2	0	2
8 鎌田	3	1	0	0	0	1	4	0	0
1 中野	4	0	0	0	0	2	0	0	0
2.3 水原	4	1	1	0	0	1	0	0	0
3.2 森川	4	1	0	0	0	0	0	0	0
7 木村	4	1	0	0	0	0	0	0	0
9.5 鈴木	4	1	1	0	0	0	0	0	0
5 井手	2	0	1	0	0	0	0	0	0
9 橋本	2	0	0	0	0	1	0	0	1
	34	6	4	0	2	5	6	0	6

▲三壘打—佐々木、水原、鈴木

一回四點の先取で 鐵道軍に凱歌擧る

高橋投手に肉薄した中銀軍 十本の安打も散發

源川榮二

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
中銀	0	0	0	0	0	1	0	0	3	4
鐵道	4	0	0	1	0	0	2	1	A	8A

8A—4

新京鐵道軍對中銀戰は新廳舍對電々戰の後をうけて午後四時十分中島(主)近藤鎌田中野四氏の審判で開始された

鐵道軍は小幡主將の不出場は痛手であるが投手に一枚看板の高橋をマウンドに立て中銀は新人立教出身古岩井を投手に起用、中銀が如何にして高橋の球を打ちこなすかに興味が懸つて居たがよく十本の安打を奪つたが、不幸散發に終つたのは矢張り練習不足の故か之に反し鐵道軍は古岩井投手の不調に乘じ四點の先取と以後適當時安打に回を重ね益々試合を有利に導いた、何れにしても投手力の差で勝敗は如何ともし難いが中銀軍が九回發揮した如き打擊振りを今少し早く現はして居たらもつと試合は面白かつた事と思はれる兎に角最初の四點は中銀にとりては致命傷であつた、九回の猛擊も唯點を縮めるに過ぎず挽回し得ざりしは大に同情に堪へないが强豪鐵道軍と對して堂々四つに組んでの相撲は蓋し偉とすべし

〔經過〕

第一回(中銀)梶原投手ゴロに退き岩瀬左翼線寄りに好打、野手一度グラブに入れ乍らポロリと落球平田三壘ゴロ野手低投に兩者生き破綻を思はしめたが古岩井左飛坪井遊ゴロに好機空し(鐵道)藤戸一壘ゴロ失に生き淺香三壘前軟ゴロは內野安打となり野手暴投に一擧三進し藤戸生還先づ一點を先取岸、山根兄四球續く古賀の二壘右を抜く安打に淺香、山根生還、高橋遊飛、平野四球、田中遊擊ゴロに二壘封殺される間に古賀生還、池田三振に止むも此の回四點を擧ぐ

第二回兩軍凡退

第三回(中銀)三者凡退(鐵道)一死後、平野三壘ゴロ一壘エラーに生き田中四球、池田三振、山根弟四球に二死滿壘の好機を迎へたが藤戸左飛に中銀ピンチを切り抜ける

第四回(中銀)三者凡退(鐵道)淺香先づ中堅前安打、山根同じく中堅前安打無死一、二壘のチャンスを迎へ次打者古賀期待に反せず中堅前に安打を放ち淺香[illegible]生還、駒得點を思はしめたが後援續かず

第五回(中銀)今西左翼安打坂田中飛梶原三振岩瀬四球二死ながら一、二壘のチャンスも平田遊擊ゴロに空し(鐵道)池田、山根共に三振藤戸三壘前軟ゴロは內野安打となり一壘に生きたが山根兄投手ゴロ

第六回(中銀)古岩井セーフティバンドを試みて一壘に生き坪井投手ゴロに二進續く生南の中堅安打に一擧生還先づ一點を還し石田の遊擊ゴロは二壘封殺と思はれたが二壘手ポロリと落し二者生き猶チャンスは續いたが今西遊擊ゴロに生南三壘封殺、坂田遊擊ゴロ石田三壘封殺に後援續かず(鐵道)山根兄四球古賀二飛、高橋三壘ゴロは山根を重殺

第七回(中銀)三者凡退(鐵道)平野投手失に生き田中のバンドは野手選擇となり無死滿壘の絶好のチャンスを迎へ山根の四球で平野押出し藤戸遊擊ゴロは池田を三壘に封殺する間に田中生還淺香三壘强襲安打に猶一死滿壘の好機續いたが山根兄左飛は山根弟を本壘に重殺

第八回(中銀)古岩井左翼安打に好機來るかと思はれた三者凡退に後援續かず(鐵道)劈頭古賀遊擊右を抜き安打高橋四球に無死二、二壘のチャンス兩者ダブルスチールを企て捕手三壘暴投に淺香還し、猶無死なるに後援續かず併合計八點は勝利を完全にす

第九回(中銀)最後の攻擊はPH別所三壘右を抜く安打PH川口二壘ゴロに別所二進梶原の右翼安打に生還岩瀬一壘左を抜く安打に梶原生還右翼手暴投に岩瀬二進平田三振、坪古、岩井の左前安打に岩瀬生還坪井の遊擊ゴロに三點を還したのみで萬事休す閉戰正に六時

中銀	打	得	安	犠	盗	三	四	失	殘
8 梶原	5	1	1	0	0	1	0	0	0
4 岩瀬	4	1	1	0	0	0	1	0	2
2 平田	5	0	1	0	0	2	0	1	2
1 古岩井	5	1	2	0	0	0	0	1	1
9 坪井	5	0	0	0	0	0	0	0	1
7 生南	4	0	2	0	0	1	0	0	1
5 石田	4	0	0	0	0	0	0	3	0
6 今西	3	0	1	0	0	0	0	0	2
PH 別所	1	1	1	0	0	0	0	0	0
3 坂田	3	0	0	0	0	1	0	0	1
PH 川口	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	40	4	9	0	0	5	1	5	10

鐵道	打	得	安	犠	盗	三	四	失	殘
6 藤戸	5	1	2	0	0	1	0	0	2
8 淺香	5	2	3	0	0	0	0	0	2
2 山根兄	2	1	1	0	0	0	3	1	2
5 古賀	5	2	3	0	0	0	0	1	1
1 高橋	4	0	0	0	0	0	1	0	0
7 平野	4	1	0	0	0	0	1	1	1
9 田中	3	1	0	0	0	0	3	1	2
4 池田	5	0	1	0	0	3	0	1	0
3 山根弟	2	0	0	0	0	1	2	0	1
	35	8	10	0	0	5	10	5	11

宣詔記念スタンプ

交通部では來る五月二日一德一心の御詔書を渙發あらせられた宣詔記念日に當り左の如く記念スタンプを使用することゝなつた

一、使用局 新京、新京頭道溝、奉天、奉天城內、哈爾濱、哈爾濱道裡、哈爾濱道外、龍井村、琿春、安東、營口、齊々哈爾、延吉、吉林、滿洲里、海拉爾、黑河、北安鎭、佳木斯、綏芬河、洮南、圖們、錦縣、承德、赤峰、札蘭屯、王爺廟、大板上

二、使用期間及使用方法 康德三年五月二日料金完納の書狀及郵便葉書(同一市內發着のものを除く)の引受消印に使用するの外同日及其の後三日間料金完納の一分五厘以上の郵便葉書並一分五厘以上の郵便切手を貼付したる物件に對し記念消印の需に應ず(寫眞は記念スタンプ)

世話の焼ける 家出癖青年

城內東光小路小西秀藏氏長男小西一(二二)は去る十八日家出し大連に高飛びしてゐたところを翌日大連署員に發見され漸く新京の親元に連れ戻されたが二十五日午後八時ごろ再び無斷家出し親に世話をやかせてゐる

明治勝つ 對立教一回戰 7A—0

【東京國通】立教對明治の第一回戰は午後零時卅二分立教先攻で開始されたが七A對〇で明治の勝となつた、閉戰二時廿九分

△スコア

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
立教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明治	0	0	2	1	0	4	0	0	A	7A

帝大勝つ 對慶應一回戰 4A—3

慶應對帝大第一回戰は午後三時十三分慶應先攻で開始したが四A對三で帝大勝つ、閉戰五時十七分

毛業公司 創立準備會

滿洲毛業股份有限公司は二十七日午前十時より記念公會堂で創立總會準備會を閉催した

あす (廿八日)

▲天長節祝賀會申込締切、午後四時迄地方事務所庶務係
▲滿洲國國民精神發揚週間第一日
▲學生雄辯大會申込締切
▲硬式野球大會第四日、午後四時十分、西公園球場
▲景安正夫氏舞踊發表會、午後七時、記念公會堂
▲映畫「勝太郎子守唄」第一日、帝都キネマ(本紙讀者優待)

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇花めぐり「落花の吉野を訪うて」(大阪)瀧田菊枝 ▲七・二五 ラヂオ小說「黑猫」(東京)德川夢聲 ▲七・五五 抒情歌劇「夢」大阪桃谷演奏所より中繼

天氣と氣溫

明日の天氣 北西の風曇時々晴
日の出 午前四時三十六分
日の入 午後五時五十八分
月の出 午前十時二十九分
月の入 午前〇時二十九分
けふの氣溫 最高 十四度六 最低 三度一

告示第十一號

來ル二十九日天長節ニ付午前九時三十分ヨリ同十時三十分迄當館構內參事官官邸ニ於テ拜賀式ヲ擧行ス

右告示ス

昭和十一年四月二十五日

在新京 總領事館代理 中野高一

演藝と映畫

あすから帝都キネマ 本紙讀者優待
―「勝太郎子守唄」「薔薇はなぜ紅い」「結婚十分前」―
割引券を御利用下さい

帝都キネマ明二十八日よりの番組は左記三本立豪華編成であるが、昨報の如く本社演藝部では同キネマとタイアップし「勝太郎獨唱會」に魁けて當週間中讀者の優待を行ふことになつた、本欄刷込み割引券を御利用、春宵を飾るにふさはしいこの強力プロに映畫の持つ愉しみを堪能されたい

▽ＪＯ「勝太郎子守唄」小唄勝太郎の半生記を描いた映畫で永富映次郎が監督したオールトーキーである、原案は西條八十により脚色には監督者が兼行、音樂指揮には佐々木俊一が當つた

越後新潟で美貌と美聲が評判となり土地の資産家の一子と戀に陷り幸福な前途が約束されてゐたが、突然の男の死によつて夢は破られ二人の間に出來た愛兒をもぎはれた勝太郎は悲しみを堪えて土地の花柳界に身を投じたが、その美聲は果しなくも作曲家松木に認められるところとなり上京して葭町から華々しく賣り出し、レコード歌手として人氣を一身に蒐めることが出來た、だが常に彼女の胸を去來する愛兒の面影を忘れかねて多忙な身の寸暇を盜んでは愛兒に相まみゆることを唯一の慰めとしてゐた、この母子の悲境に同情した松木は「勝太郎子守唄」を作曲したが眞情こめて唄ふこの唄は忽ち萬都の人氣を呼び起し、遂にこの唄がきつかけとなり母と子の魂が相寄ることになる―と云つた筋で主演者勝太郎を助けて澤蘭子、酒井米子、高崎健太郎林雅美等が出演する、撮影は上田勇、勝太郎の唄が聽きものである

△パラマウント「薔薇はなぜ紅い」「南風」「麥秋」「結婚の夜」のキング・ヴイダーの監督作品、スターク・ヤング原作小說「薔薇はあまりに紅かりき」の映畫化で脚色にはローレンス・ストーリング、マクスウエル・アンダースン、エドウイン・ジャスタス・メイヤーの三人が共同して當り撮影にはヴイクター・ミルナーが當つた、リンカーンが奴隷開放を叫んで立つた一八六〇年、南北戰爭の戰渦の裡に滅び行く南方の名家の哀切の姿を描きつゝ若人の土と愛の切々たる執着を强調するヴイダー快心の大作である、主演者はマーガレット・サラバン、ウオルター・コーリイ、ランドルフ・スコット等、「ビッグ・パレード」以來の「戰ひの抒情詩」が愉しまれやう

△メトロ「結婚十分前」「支那海」「或る夜の出來事」のクラーク・ゲーブルとジョン・クロフオード、ロバート・モンゴメリイの主演する映畫で「影たき男」「男の世界」のW・S・ヴアンダイクが監督に擔つた、エドワード・パリー・コバーツとフランク・モーガン・キャヴエット合作の舞臺劇によりジョセフ・L・マンキウイッツが脚色に當る、樂しい結婚を夢みながら愛人のもとに歸へつて來た時、女は自分の竹馬の友と結婚するところであつた一度びはあきらめたが最後の十分前になつて女は友を捨てゝ自分の懷に飛び込んで來たのである、若い近代人の戀愛觀がヴアン・ダイク一流の太々しい神經で描かれてある邊りが興味である、撮影はクレッグ・トーランド

空前の活況に沸く 五月の演藝陣
人氣の王座は小唄勝太郎

五月の新京演藝界は櫻桃梅李一時に開くの盛觀を呈すべきは既報の通りにして、之が宣傳戰は未曾有の激戰を豫想され、一日二日の藤浪會勢好會の溫習會は、御贔負筋に依つて切符がバラ蒔かれることとて、表面には餘り現はれないが、公會堂の内外を花環で埋め大入滿員の盛況は疑ひなく、五日六日の關東派浪曲の泰斗廣澤虎造は見事な立看板や吊ビラが早くも、街角や飾窓に人目を惹いてゐる、八九、十日の「すわらじ劇團」は、未だ殆ど宣傳に手を附けてなく、一番地味である、十一、十二日の小唄勝太郎、德山璉、小林千代子の獨唱會は何と云つても人氣の王座で、花なら櫻、恐らく滿都を興奮の坩堝に捲き込むものと思はれる、勝太郎は待望の滿洲巡演を前に、去る十九日甲子園に於ける輝く日本博覽會に出演、米山甚句、島の娘、三階節、鴨綠江節等で、當日の人氣の美聲を聽かせ、日本一を獨占した、「ハアー島で育てば」で賣出したところで、海と言へばせいぐ大島通ひの船しか知らぬ勝太郎姐さん今度生れて始めて玄界灘の荒波を越えて、憧れの滿洲へ行くといふので、十六娘のやうに喜んだり心配したりしてゐる、德山璉は「百萬人の合唱」に主演してからすつかり度胸が出來、今度は古川綠波と組んで「歡ふ彌次喜多」を撮り、今では流行歌手と同じ程度に喜劇俳優として知られ人氣の點では東海林太郎とどつちかと云ふ所にある、勝太郎と小林千代子の介添役として、「わつしが附いてる、安心なせえ」とポンと胸を叩いたと言ふ話である、小林千代子は若さと美貌と美聲で歐はれてる、松竹少女歌劇のプリマドンナ、今度の來滿に就ては新京に待つ夫君とのロマンスが、いやが上に人氣を煽つてゐる、此ナンバーワン計り三人揃えた豪華陣、若し當らなかつたら如何かしてる、其の次ぎが十四、十五、十六日の喜劇曾我廼家五九郎、之は如何なる策戰に出るか、未だ知られてゐない、尙演藝界の是等の陣容に對し、映畫館でも恐らく大物を持つて對抗すべく、五月の新京興行界は空前の壯觀を呈するものと期待されてゐる

雜音

溫習會、勝太郎、すわらじ劇團、五九郎等張り切つた五月の演藝陣への期待は大きい▼各映畫館も大ものをもつてこれに對抗する長春座の「お夏淸十郎」「家族會議」「一九三六年の大放送」「Gウーメン」「ブラウンの怪投手」豐樂の「シスコキッド」「東への道」「ジャバの東」「テムプルちゃんお目出度う」帝都の「野性の叫び」「ラブパレード」「あらし」「三十九夜」等が五月のリストに乘せられてある、依然として洋畫の氾濫である▼帝都はあすから强力三本立編成、本紙讀者は割引券を御利用ありたい▼豐樂の次週洋畫はユニバーサルの「征空爆擊隊」この會社獨得の色彩が喜ばれやう、「丹下左膳」「ダンテ」好評、初日土曜日の入りは好況を呈した

四月廿八日	火曜
舊三月八日	庚辰
	佛滅
	建
	翼宿

●一白の人　進むよりも控へて後日の基礎を作るべき日　丙と申と壬が吉
●二黑の人　喜怒哀樂の變化烈しき日なるを以て注意日　丙と丁と癸が吉
●三碧の人　利得盛なるの日なれど愼重を欠けば漏出る　丁と戌と壬が吉
●四綠の人　運氣弱くして何事も先方より敗れ來るべし　丙と壬と癸が吉
●五黃の人　進取の道を講ずるよりも退き守るが勝とす　丙と丁と壬が吉
●六白の人　他人の誘惑に乘らず堅固に進めば大吉の日　丁と壬と癸が吉
●七赤の人　生氣壯なる日にして萬事進みて吉企業尤吉　丙と丁と壬が吉
●八白の人　暗雲に遮らるゝ樣なり輕動せざれば安穩日　丙と壬と癸が吉
●九紫の人　之まで心に願ひたる事の成就する吉日なり　庚と辛と丑が吉

撫順大堅坑の作業 六月上旬開始か

東部炭田深部採掘の作業開始

撫順炭鑛では東部炭田深部採掘として三ケ年計畫のもとに一千萬圓の巨費を投じかねて建設中であつた龍鳳大堅坑は昨秋新屯―龍鳳間を繋ぐ主要運搬坑道の開通以來着々工事も進捗し五月下旬同坑捲搭の完成と共に六月上旬よりいよいよ撫順炭田東部深部一帶を一丸として大堅坑の採炭作業を開始することになつた。これが完成の曉は同坑の初年度出炭は一日千五百噸十三年度より五千噸で第二次計畫完成の上は一日一萬噸を出炭し得るので全長七百七十米内徑六米半の大堅坑もこれに要するゲージについては炭坑首腦部としても多大の苦心を拂ひケージは四階とし各階炭車收容は二函計八函でこれが全重量は三十二噸で從つて捲綱も鋼鐵製直徑六十六粍の綱を用ひ捲上方法もケーペ式(釣瓶の如き)を採用してゐるが同機はケーヂ捲豎坑としては世界第一を誇るもので地上六十餘米の大捲塔は西部露天掘とともに炭都撫順の一偉觀を呈してゐる

日支の經濟提携は 先づ技術から

栗本勇之助氏の論具體化

日支經濟提携は廣田内閣の積極的政策に依つて着々具體化せんとしつゝあり殊に北支工業進出、棉花栽培、品種改良指導、飼羊奬勵等となつて現はれつゝあるが今後日支間の經濟開發を行ふ爲には工業提携を措いて他になしと見られてゐるが之に對し大阪商工會議所では栗本勇之助氏の提案に依り工業提携の實を擧ぐるためには技術的提携が先決問題である、そのため邦人技術者の交換及養成を進んで行ふ要ありとの見地に基き同所工業部會に於て研究を進める事となつたこれはかねてよりの栗本氏の持論であるがたまたま來阪の駐支武官喜多少將との懇談會席上、右の如き意見を述べ喜多少將より赴任後善處する旨の確言を得た結果急速に具體化し研究に着手することとなつたものである

日滿貨物連絡會議 京城で開かる

鮮滿直通運率其他を打合

鐵道局では北鮮、大連、朝鮮の三コースの貨物運賃の協定を主題に日滿貨物連絡會議を廿五日開催

大橋運輸課長、桑原貨物主任(北鮮鐵)江崎貨物課長鶴岡主任(滿鐵)諸富貨物主任、尾崎賃率主任(總局)及び鐵道省から高橋事務官はじめ鐵道局から佐藤營業課長らが廿名出席

左の議題を審議、廿七、八兩日續開するがいづれも重要議案のみを網羅し特に鐵道省が『お宅からお宅へ』をモットーに實施中の宅扱ひ貨物を鮮滿兩者が呼應して實施する案と、安奉線運賃問題で論議沸騰した鮮滿間の直通貨物賃率の問題は注目されてゐる

一、小口扱賃率案の説明及び審議
二、宅扱賃率案の説明及び審議
三、車扱直通賃率に關する打合
四、鮮滿間直通賃率に關する打合
五、次回會議に關する打合せ

鑛山機械類

滿洲に期待さる

滿洲に於ける今年度の鑛山開設並に增設計畫は鑛山機械に於ても八方に手を延ばし調査中であるが相當發展と機械の需要が豫想さるゝに至つた、即ち滿洲に於ては滿洲炭業統制委員會が炭業統制の五ケ年計畫を樹立に出炭量を年三〇〇萬噸增加し年一、六〇〇萬噸の出炭量を實現す可く計畫するに至つたが此の出炭量三百萬噸に對する各炭山の擴張事業は當然相當な機械の需要を增加するものと見られ淺野物產等の大物筋を初め京橋機械渡邊與助商店其他各メーカーは大活躍を開始するものと期待されてゐる

奉天の罐詰

支那品進出す

奉天市場の罐詰は事變後日本品が多數を占め僅に營口、安東及び錦州方面より若干輸入されてゐたのみで支那側品は全然市場より姿を消してゐたが、最近に至り支那側の對外爲替が下落し引合に有利と

號、東川氷、愛馨香、廣發合等にて一日二百圓以上の取引をしてゐるが罐詰の需要期に入つた昨今においてこれ等支那品の進出は日本側に脅威を與へてゐる、因に滿洲事變前は總て支那上海、天津、芝罘昌黎等の各地より仰いでゐたゝめ奉天の滿商と天津方面とは密接な資本關係があり日本商品の將來に樂觀を許さないものがある

なつたゝめ天津昌黎方面より夥々奉天市場に輸入されて居る、滿人側の罐詰取引は三隆

紡績聯合會計畫の 工業組合流產

津田、庄司兩氏意見對立

【東京國通】紡績聯合會の日本紡績工業組合設立計畫は内部的にも足並み不揃ひの儘行惱みの狀態に陷つた折柄右設立問題をめぐり津田鐘紡社長庄司東洋紡社長兩氏の間に根本的意見の齟齬を生じ遂に紡織工業組合設立工作は打切りの餘儀なき運命に立至つたものの如くである右に關し岸工務局長は語る

紡績工業組合設立に關し未だ公式の認可申請を受けてゐない、認可申請の場合どうするか未だ決つてゐないが、津田君と庄司君の意見が大分喰ひ違つてゐるらしいので或は右計畫は自然解消になるかも知れない

本社と工場奉天に 亞細亞麥酒會社

―年產豫定は十二萬箱―

大阪市東區高麗橋一丁目野村ビルに創立事務所を置く亞細亞麥酒會社(資本金百萬圓)は去る一月二十二日附を以て滿洲國實業部大臣より事業の許可の日より四ケ月以内に滿洲帝國法令に依り股份有限公司設立認可申請をなし且つ一ケ年以内に工場設備を完成せねばならぬ事になつてゐるが去る十五日より二十一日まで京城鮮銀本店、大連、奉天、新京、東京、大阪、下關の各鮮銀支店にて株式を公募した

當社は奉天に本社及工場を設け麥酒、清涼飲料、米及酒類食料品の製造販賣並に之に關聯する物品販賣其他の附帶業務を營むもので麥酒の製造高は年額十二萬箱の豫定である

日ア合辨會社 創設され始業

【東京國通】日本產業では南米大西洋岸へのトロール漁業進出に就き直系會社南米水產の甘利專務、安永常務をヴエノスアイレスに派遣してアルゼンチン政府と同國沿岸に於ける漁業權讓受交渉その他諸般の準備を進めしめてゐたが、政府方面とも諒解が完全に成立し同國當業者と日ア合辨會社を設立することに決定第一回の試驗的出漁として日本產業系共同漁業のトロール船淡路丸(四八〇噸)が異常な期待裡に來月十四五日頃日本を出發アルゼンチンに向ふこととなつた

擡頭した糧棧問題 (五)

貸付の回收本位 合作社の貧農排斥

―依然たる高利貸の跋扈―

金融合作社の貸付は、無擔保二〇〇圓迄、有擔保五〇〇圓迄貸付けることゝなつてをり、創設當初よりはその範圍か擴大されて來てゐる、そうして利率は日步平均六錢、月利一分二厘乃至一分八厘であつて、年四回徵收を現行してをる、從つて年平均利率一割五分に當る。それは現在農村における民間金利に比して、必ずしも高率利息とはいへないが、農業金融の本質に顧みかつ農民保護のための協同組合的施設の利率としては、決して低いものであるとはいへまい。さらに康德元年末の調査によつて見ると、保證貸付の貸付總額に對する割合が〇・四%であるのに擔保貸付のそれは九九・六%といふ數字を現はしてをる、この著しき事實は、元來合作社の農業金融が農民窮乏の實情に即する限り、一般銀行の貸付と異つて、信用貸付を本領とすべきに拘らず、これに逆行してゐることを物語つてゐるわけである。

× ×

また貸付金の使途については『社員貸付の目的に反し貸付金を使用した時には、金融合作社は償還期限前といへども、貸付金全部の償還を請求することを得』との監督規定はあるが、實際上には何等檢查監督の事實が行はれてゐない。

なほ保證貸付における保證人側が、貧農救濟といふよりは、寧ろ回收の安全を保障することに重心が置かれてゐる關係上、貧農は個人としても團體としても、得て合作社の金融圈外へ排斥される傾向が極めて濃厚である。

これらの諸事情、即ち資金構成における官僚主義、貸付制度としての擔保貸偏重の傾向とその事實、使途に對する監督乃至檢查の缺陷、貧農の排斥等々が競合して、本來農村における搾取排除を目的として、公正なる庶民金融たるの機能を發揮せしむべく意圖された金融合作社が、その發展の過程において富農層以上のみを社員として獲得し從つて地主富農層の補强救濟には役立つとしても、肝腎の貧農小作人層にとつては、何等の效果を及ぼさず、折角の恐慌對策としての金融合作社運動が、當局者の側における貸付政策と、農村における社會的經濟的事情に遮ぎられて所期の目的を達成し得ないのが、現階段における實情である。

× ×

さらに下層農民金融機關としての當舖は、依然として盛んに活躍してゐる、すなはち地方における小額の農業金融については、中央銀行も普通銀行も、餘り直接の關與を持たないところから、農民は自然と小額の長期金融を求めて當舖へと走るわけであるが、この要求に應じて現る中銀系の大興當舖が存在し、ゐるが、その貸出利率は奉天、遼陽、鐵嶺、營口、錦縣其他數ケ所が月二分五厘であるのを除けば、其他地方では月利三分・年三割六分、期限十八ケ月の稍長期間の金融をしてゐる。金融合作社貸出利率に比して格段に當舖のそれが高率であること、それにも拘らず、やむなく當舖の門に殺到せざるを得ないといふことは、銀行を利用し得ず、合作社さへもから排斥された貧農が、民間の地主高利貸、糧棧等と同樣に當舖によつていかに深刻なる搾取を蒙りつゝあるかを如實に物語るとともに、當舖そのものの農民金融機關としての牢乎たる存在を窺知するに足るものがある(水口生)

土建ニュース

▲決定工事 ●地方事務所

▲四平街醫院内部改造に伴ふ給汽給湯給排水裝置工事 單獨 四百二十七圓 第一工業

▲正阿河排水區水第二分區準線第八、廿五、三七鐵管布設工事 ●哈爾濱特別市公署 特命 五千百八十六圓 東亞土木

▲皇姑屯檢車段機器新設工事 ●奉天鐵路局 落札 三千七百六十二圓 清澤鐵工所 川住鐵工所 滿洲工作所

▲錦承線葉柏壽機關庫内ジャッキ台新設工事 單獨 二百七十七圓 今井組

▲撫順線李石寨間四六K六八三上り線橋梁橋脚改築工事 ●奉天鐵道事務所 落札 千二百九十一圓 倘厚溫 一、三四〇、〇〇 細川組 一、五九〇、〇〇 福井高梨組 一、四三〇、〇〇 今井組

▲四平街昭平橋車道改築工事 落札 四千百六十五圓 岡組 福井高梨組 福井組 草場組 三田組

▲大連市營住宅壁塗替工事 ●大連市役所 落札 四千三百四十三圓九十八錢 兼頭助市 兒島四郎 神田俊秋 春田楊一 藤田治夫 二瓶太郎 門屋庫要 小松政藏 細野

▲大連埠頭構内用埠頭道路マガタム補裝修理工事 ●大連鐵道事務所 落札 一千七百九十五圓 今井組 一、八二一、〇〇 福井組 一、九六八、〇〇 井上組

▲中試沙研金屬杯料購入試驗室增築工事 ●大連工事々務所 落札 六千五百二十圓 井上組 吉川組 長谷川(倍次)工務所 長谷川(貞三)工務所

▲甘井子第六區乙種社宅八戸新築工事 ●滿鐵地方部 落札 二萬九千七百圓 鈴木組 今井組

大陸工作の内容として新軍農主義を主張したいといふ樸氏の理論は注目に値ひするであらう▲それは二つに割れてゐる今の日本の對支外交方針を一元化する途でもあるといふのだ、すなはち支那農民の具體的な利益增進を目的とする處の方策を先づ樹立せよ、具體的には宋哲元を援けたり殷汝耕の政權を造つてやつたりする事の代りに、縣以下の行政區域即ち市鄉及び村に共同社會的な意味の自治機關を設けよ、それによつて中農、貧農を苦しめてゐる地主の三位一體性を合理合法的に解きほぐす▲又この機關の中に、土地管理組合、債整理組合をつくり小作權及び債權を地主債權者から移讓させ、それを地主及び債權者のために代行してやる、斯くて封建遺習を排除し階級鬪爭の激化を防ぐといふのである▲北支が試驗に供されることになつた―「望むらく南北の和のとほけども」

商況欄

(四月廿七日前場) 海外經濟電報

倫敦銀塊 二〇片八分三
同 先限 二〇片八分三
紐育銀塊 休會
孟買銀塊 五〇留比六分二
米英爲替 四弗九四仙四分三
米日爲替 二八弗九〇仙
米支爲替 三〇弗〇〇〇
スチール 六四弗二分一
アナゴンダ 三六弗四分三
英日爲替 一志二片[illegible]分三
英支爲替 一志二片八分五
印日爲替 七七留比六分二

▲米棉
現物 一一仙八三
五月限 一一仙五八
七月限 一一仙一九
十月限 一〇仙三七
十二月限 一〇仙三五
一月限 一〇仙四〇
三月限 一〇仙四四

▲印棉
ブローチ 二〇二留比
オームラ 一八八留比
ベンゴール 一五七留比

▲市俄古小麥
五月限 一弗八分七
七月限 九〇仙四分一
九月限 八九仙四分一

▲カルカッタ麻袋
青筋 未着
鐵筋

金銀市況

●上海標金 本寄 二〇二・六 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向 第一回賣買 一〇三、三七五 第二回賣買 一〇三、六二五 第三回賣買 [illegible]
▲倫敦向 第一回賣買 一志二片三二分一 第二回賣買 [illegible] 第三回賣買 [illegible]
▲紐育向 第一回賣買 二九弗一六分三 第二回賣買 [illegible]

▲大連爲替
▲上海向 一〇六、〇五 一〇六、一〇 一〇六、〇二五 一〇六、〇五 一〇六、〇〇 一〇六、〇〇五
▲天津向 一〇六、一〇 六、〇五 六、〇〇 五、九五 六、〇〇 六、二五 出來高 一五〇萬

▲阪神日米爲替 第一回賣買 二八弗一六分[illegible]
▲阪神日英爲替 第一回賣買 一志二片三二分一六分一

●大連金銀塊 現物 寄付 [illegible] 歩 [illegible]
引 高 安 出來高 四月廿八日限 五月十三日限 寄付 歩 [illegible]
●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible]

各地株式市況

▲東京株式(短期) 東新 鐘新 滿鐵 日產 大新 寄 引 [illegible]
▲大阪株式(期)短 大新 鐘新 東新 日產 日魯 寄 引 [illegible]
▲大連株式(短期) 五品 豆新 鈔新 銭新 東新 滿鐵 二新 日產 日魯 寄 引 [illegible]
▲奉天株式(清算) 滿取 東新 大新 日產 五品 豆新 鐘新 滿鐵 二新 電甲 同乙 東拓 滿興 滿毛 優先 日魯 東亞 寄 引 [illegible]

各地商品市況

▲大阪棉糸 寄 引 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 [illegible]
▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]
▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆 袋入 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●同 豆粕 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]
●同 豆油 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
○同 高粱 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●哈爾濱大豆 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 出來高 [illegible]
●同 小麥 五月限 六月限 七月限 出來高 [illegible]
●神戶 豆粕 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

新京取引所市況

(四月二十七日前場)

現物(一石値段) 寄 出來高
大豆 [illegible] 一車
高粱 二一・七[illegible] 一車
小豆 [illegible]
玉蜀黍 [illegible]
定期(混合百斤値段) 寄 引 出來高
大豆 四月限 六・三一 六・三六 四車
五月限 六・二七 六・二六 一車
高粱 四月限 三・一〇 一車
五月限 三・二五 三・二五 一六車
月限 三・四〇 三車

お知らせ
一、内地杉小角類販賣
八島通り四〇 五十嵐組
電話 三・三九三番(販賣係) 三・五八八五 二・一四八一

大正九年十二月四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二一五 營業局專用(3)三二一〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇男
印刷人 水越內之介

昨夜の三笠宮殿下 皇帝陛下を御訪問

一年ぶりの盡せぬ御歡會

畏し、日滿皇室の御親善

晴れの御入京第一夜を迎へさせられた三笠宮殿下には二十七日午後六時二十分宮內府差廻しの自動車で御旅館たる大和ホテルを御出發土居事務官、森、恒吉御附武官を從へさせられ宮廷府に皇帝陛下を御訪問、昨年四月皇帝陛下御訪日のみぎり御對面遊ばされて以來一年振りの御會見を遊された、宮殿下には先づ皇后陛下の御贈物を皇帝陛下に贈進あらせられてより御訪日當時の懷しい御思出を御追想、種々濃やかなる御物語を交させられたと洩れ承る、皇帝陛下には天皇陛下の天機、皇后陛下、皇太后陛下の御機嫌を伺はせらるれば宮殿下には御健やかな天皇陛下、皇后陛下、皇太后陛下の御近情を御物語らせられ輝しい春宵に宮廷府の御內廷は御居室より洩れる灯火が煌々と照り映えていつまでも日滿兩國の御皇室の彌榮を祝福するやうに輝いてゐた御事と拜察するだに畏き極みである、かくて午後九時三十分宮殿下には御名殘りを留めさせられ宮內府を御出發同四十分大和ホテルに御歸還あらせられた

士官學校生と御偕に 忠靈塔に御參拜

地下の英靈に親しく御默禱

日滿官民の熱誠籠めた奉迎のうちに御着京遊ばされた三笠宮殿下には二十七日午後二時五十五分新京驛を御出發、自動車鹵簿にて忠靈塔に御參拜あらせられた、この日忠靈塔廣場には我らの宮様を迎へるため紅白の幔幕が張られ宮殿下の御名に因んで命名された三笠小學校兒童約六百名が辻校長に引率され廣場の右側に堵列、宮殿下の御到着を御待ち申上ぐれば宮殿下には同三時五分森御附武官を從へさせられ忠靈塔前に御着、出迎への兒童に擧手の禮を賜ひつゝ騎兵軍曹の颯爽たる御勇姿を靈前に進めさせられ續いて到着した山田校長以下陸軍士官學校本科生三百九十三名と御ともに地下に眠る英靈に默禱を捧げさせられ後同三時十五分軍司令部に向はせられた、軍司令部においては約二時間にわたり生徒隊と御共に軍幕僚より講話を御聽取遊ばされ同五時三十分軍司令部御發、御旅館大和ホテルに入らせられた

三笠宮殿下御來京 （上）は忠靈塔御參拜と（下）新京驛御到着の宮殿下（右はお出迎への板垣參謀長）

滿洲國の風俗寫眞を獻納

宮脇情報處長は二十七日御來京の三笠宮殿下に滿洲國の風俗寫眞を獻納した

士官學校生 昨日の行動

陸軍士官學校本科四十八期生三百九十三名は三笠宮殿下と御共に二十七日午後二時三十分着特別列車で奉天から着京、總務部長伊佐一男大佐、本科生徒隊長竹內寛大佐、戰術部長野田謙吾大佐等指揮の下に驛前から自動車にて數島通りを經て新京〇〇隊に到り銃及背嚢を殘置し忠靈塔を參拜、關東軍司令部にて約二時間に亘り幕僚より滿洲に關する講話を聽講、午後六時四十分頃〇〇隊に歸還した

工業鹽 漁業鹽 販賣輸出獨占の 鹽業會社誕生す

昨日設立委員會後創立總會

輸出工業鹽の統制を目的とし併せて國內鹽田の開發に當るべき半官半民の特殊會社滿洲鹽業株式會社の創立委員會は二十七日午前九時より日滿軍人會館に於て開催、設立委員長孫財政部大臣以下各委員出席し定款、株式割當、人事、事業計畫等を決定、直ちに同所に於て創立總會を開きここに滿洲鹽業株式會社の設立を見た、仍つて同日直ちに滿洲國當局に對し登記並に定款認可の申請を行つたが、右滿洲鹽業會社は新京青陽ビルに本社を置き大連及び現場二、三ヶ所に支社を置き來る五月一日に業務開始の上復縣の拉望海店の二ヶ所に八ヶ年計畫で第一期千四百ヘクタール、第二期二千二百ヘクタール、合せて三千六百ヘクタールの鹽田を開發して年產十五萬噸の鹽田を完成する筈で、右社內鹽田の產鹽と共に社外既設鹽田改良の上產出すべき十二萬三千噸を合せて年產二十六萬六千噸の工業鹽漁業鹽の販賣及び輸出を獨占する筈である

幹部決定 理事長は三角氏

廿七日の滿洲鹽業會社創立總會に於て選任された同幹部は左の如くである

△理事長 三角愛三氏（旭硝子專務）
△副理事長 洪維國氏
△理事 甲斐喜八郎氏（大日本鹽業社長） 芝喜代二氏（大日本鹽業常務）
△監事 石川一郎氏（曹達漂白粉同業會） 富田和氏

會社の株式割當

（滿鐵專任監査役）

廿七日創立された滿洲鹽業株式會社の株式割當は左の如くである

株主	割當
大日本鹽業	一六〇萬圓
滿洲國	一二五
滿鐵	一〇〇
旭硝子	三〇
德山曹達	三〇
滿化	二五
東拓	一〇
曹達漂白粉同業會加盟五社	二〇
合計	五〇〇

滿鐵資金五ヶ年計畫 四億三千餘萬圓

定款變更で發行限度擴張さる

【大連國通】曩に滿鐵が立案した資金五ヶ年計畫は佐々木理事より政府當局及びシンヂケート銀行團に提示、詳細說明して全幅的諒解を得たので滿鐵では社債發行限度擴張に關する定款變更の手續きを急ぎ七月の定時株主總會迄に完了する事となつたが、右五ヶ年計畫に豫定される資金は十一年度以降の發行限度擴張に依る二億七千萬圓の外十一年度の一億三千萬圓及び十二年度の株式拂込金三千六百萬圓を併せ四億三千六百四十萬圓に達しこれが內譯は（單位千圓）

一、新線建設費 一〇二、〇〇〇
二、線路改良費（車輛費を含む） 一六五、〇〇〇
三、社內特別事業費 四〇、〇〇〇
四、關係會社投資 五三、〇〇〇
五、豫備金 六六、〇〇〇
計 四二六、〇〇〇

となつて居る

右の計畫に從へば滿鐵は近く設立されるアルミ會社並びに石炭液化事業の完成を以て滿洲重要經濟建設は一段落せりとの見解の下にこれが協力を打切る事となつて居るが、社債發行限度の擴張に依つて得る資金は尙約二億三千萬圓の殘額があるので更に有利な事業及び重要產業開發に對してはこの範圍內に於て實質的に協力すべく依然調査は續行する事となつて居る

而して問題の北支經濟開發は未だ具體的には何等の見透しもつかないが實際着手する事となれば資金計畫は別途に考慮される事となつて居る

販路協定整ひ

滿洲曹達會社設立具體化す

日本側と競爭工業の關係上行惱みの狀態にあつた滿洲曹達會社の設立は滿洲鹽業の新設により急速に具體化し過般來滿洲國側と日本側と折衝を重ねた結果、新設會社の販路は主として支那、滿洲とすることにより妥協成り近く滿洲國、滿鐵、旭硝子、滿化その他關係者相寄り設立の具體的協議を行ふこととなつた、同社は滿洲鹽業と共に滿洲に於る曹達工業の進展に第一步を踏出すもので滿洲國法人とし資本金八百萬圓（二分の一拂込）主として新設された滿洲鹽業に原料を仰ぎ第一期計畫として甘井子工場を設立する筈である、なほ右は特殊會社で滿洲に於る曹達工業の獨占權を與へんとするものである

ギリシヤ政府 兩島に武裝

【アテネ廿六日發國通】ギリシヤ參謀本部はトルコ政府のダーダネルス海峽再武裝に呼應して海峽入口に位するレムノス島及びナモトラキ島に要塞を構築するに決したと報ぜられる、レムノス島及びナモトラキ島は一九三三年海峽制度に關するローザンヌ條約第四條三項の規定によつて非武裝地帶とせられて居るものである

滿洲國關稅の根本的改正に着手

注目さるゝ改正目標

滿洲國政府に於ては建國以來小改正をも合して三回に亘つて關稅則の改正を行ひ今日に及んでゐるが第一次に於ては主として舊政權より踏襲された排日關稅の應急的是正を行ひ次いで貨幣價値變動に基づく從量稅、從價稅の調整並びに一部產業保護政策の加味を主とする暫定的改正を行つて來たのであるが其後日滿兩國を繞る經濟狀勢の變轉に從ひ根本的な關稅則の改正をなすべく財政部に於ては生產費、物價、貿易採算等の精密調査を終り目下タリフ品目の權威を行ひつゝあるが今次の改正の目標は

一、貨幣價値並びに貿易價格の變動に基く從量稅、從價稅の全般的是正
一、稅率高きに失し輸入禁止に近く財政關稅の本質に背馳するものゝ合理化
一、稅番粗にして各種の不合理を生ずるものに對する課稅品目の再分類
一、輸出稅の可及的撤廢輕減

等にあるものと見られてゐるが治外法權附屬地行政權の移讓等により逐年膨脹必至と見られる滿洲國財政の現狀に照し、財政を無視した改正は行ひ難く、特殊品目を除く以外は全般的な引下げは困難視せられてゐる

航空往來

▲小山良樹氏（會社員）二十七日午前チチハルへ
▲松井松吉氏（同）同午後ハルビンへ
▲沖永整道氏（同）同
▲塚井好次氏（貿易商）同
▲沙橋仁平衛氏（實業家）同
▲永吉由藏氏 同
▲高橋勘一氏（會社員）同
▲陣內恒治氏 同ハルビンより

外務省辭令

【東京國通】外務省辭令は二十七日左の如く發表された

任領事兼內務書記官 岩手縣書記官 北村英明
上海在勤を命ず
外務政務次官 猪野毛利榮
外務參與官 松山常次郎
對支文化事業調査會委員被仰付

社説

特別議會開會迫る
われらは何を期待するか？

一

異常な事件の後をうけて、戒嚴令下の特別議會が開かれやうとしてゐる。事件が起つたとき、政友會も民政黨も自重、靜觀を看板としてゐた。辛辣に評するならば、無爲無能、卑屈怯懦であつたとも言へるのである。そこには何一つ自己を主張し、議會政治を擁護することもせず、おこぼれ式に割り當てられた端しくれの椅子でも大臣にさへなれば有難いといつたやうな憫れな姿が見られたのだから。總選擧の結果、第一黨の地位から滑り落ちた政友會が、第一黨の民政黨と同じに二つの椅子を占めたり、新內閣の組織に國民の意志は表現されてゐなかつたり、內閣の辭職、成立が國民と無交涉に行はれたりしてゐるところに、議會政治といふものが官僚や政黨の言と異なりすでに徹底的に變質してゐることは明白である。

二

ブルジョアジー自身がもともと封建的地主と根本的利害を共通にして居り、舊制度的勢力に妥協してゐる、勞働者農民、勤勞者大衆は政治的市民的自由を完全に持つてゐない。そのやうな情勢の中に在つては、政治的停滯、腐敗、上層少數部內での取引や阿ユ親分乾分的繫りは存在しても政策、綱領を基本とした堂々たる政治的討論の展開は見られない筈である。國民大衆の支持を得るよりも、國民大衆から游離してゐる少數分子の恣意にかなふ方が政權を取る近道であつては、國民の意志を代表し、國民の自由權を保證し、國民の生活を擁護すべき議會政治の本質は薄れてしまふ。自決、投票、普通平等選擧、多數決、代表、自由討議、公開、議會による立法、これらのものが議會政治の諸原理である。今や誰の眼にも議會諸原理が危機に直面してゐることは歷然たるものがあつた。

三

十八世紀の靜寂な樂觀的社會に於いて考案された、この主知的合理的な政治機構、その諸原理が、現代に於いて無內容な假面となつてゐるのは何故か？ かかる危機をもたらした核心的な原因として、われわれは大衆文明の進展と資本主義の獨占とを擧げねばならぬ。現代の大衆的な機械文明の中で、尨大な大衆を組織し、錯雜且つ急テンポな社會生活に適應した政治的能率を持つ機構技術は舊制度を以てしては充たし難い、經濟勢力の政治機關驅使については今更ら言ふまでもない。新しい政治の機構へ！ 現實がそれを要請してゐる。特別議會に對するわれらの期待もひとへにそこにある。山積する諸重要法案をめぐつて展開される場面のうちにわれらは共同の福利の實現を見たい。

注視的外蒙事情（十五）
外蒙の變遷とソ聯邦の外蒙侵略

「外蒙古勞働國民權」宣言

一、蒙古は獨立國民共和國であつてその主權は勞働國民に屬する、國民はその主權を國民議會及同議會によつて選出さるゝ政府によつて之を施行す

二、外蒙古共和國の當面の國是は封建制度の殘骸を根滅し民主制度の上に新しい共和政府を樹立するにある

三、これがためには政府は左の施政方針を遂行す

イ、土地、森林、水その他の地壤はこれをあげて勞働國民の共產とす

ロ、一九二一年の革命前に締結された國際條約及び借款は一切これを無效とす

ハ、外國人の跋扈時代に生ぜる外國人に對する個人の債務は國民經濟にとり忍ぶべからざる負債であるが故に未濟の個人債務は一切これを無效とす

ニ、政府は統一經濟政策を採り外國貿易を國營とす

ホ、勞動國民權を保護し內外の反動勢力の擡頭を防止せんが爲に蒙古國民革命軍を編成し又勞働者に軍事教育を授く

ヘ、勞働者の良心の自由を確保せんが爲に宗教を國家より分離し宗教は國民各自の私事とす

ト、勞働者の意思表示の自由を確保せんが爲に政府は言論機關を起し之を勞働者の手に委す

チ、あらゆる集會の自由を保證せんが爲に政府は勞働者に集會場を提供す

リ、勞働者の組合の自由を保證せんが爲めに組合組織に必要なる物質的その他の援助を與へる

ヌ、勞働者の智能增進の爲めに政府は勞働民衆の無料教育の普及を圖る

ル、政府は民族宗教及び男女の差別を問はず全國民の平等權を承認す

ヲ、舊王族及び貴族の稱號及びその特殊權一切を撤廢す

ワ、全世界の勞働階級が資本主義の根本覆滅とソシアリズム（コムミユニズム）の建設に向つて進みつゝあるに鑑み、蒙古共和國はその對外政策に於て全世界の被壓制民族及び革命勞働階級の利益を尊重しその根本目的に合致せん事を期す、但し事情によつては他の資本主義國とも反證的關係を結ぶ事を許すも蒙古共和國の獨立を侵害せんとするものに對しては斷乎として之に抵抗すべし

埃及側依然 非協調的態度

【東京國通】廿五日笠間日埃會商代表より外務省に達した公電に依れば去る廿三日行はれた本會議に於てエヂプト側の態度は依然緩和せられず日本側の要求した爲替保障稅の撤廢はもとより綿製品對棉花のバーター制度緩和の要求に對しても前回同樣の回答を繰返し局面の轉回今や全く絕望視されるに至つた

而してエヂプト側のこの非協調的態度は切迫した總選擧の結果を見る迄は日本側を抑へておくに如かずと爲す意嚮に出たものと見られる筋もあるので、俄かに悲觀するの要なきも樂觀を許されない實情にあるので外務省では會商決裂最惡の場合に對處すべき方針を決定すると同時にエヂプト總選擧の結果を注目し和戰兩樣の態度決定を急ぎつゝある

英ソ提携を懸念 獨逸政府佛の動靜を監視

【ベルリン廿四日發國通】ドイツ政府當局は最近パリ駐劄ソヴイエト大使ポチヨムキン氏がフランダン外相及び曾ての佛ソ相互援助條約の立役者エリオー氏と頻繁な折衝を續けてゐる事實並にベルリン駐劄フランス大使ポンセ氏がイギリス政府の對獨質問書提出を前に突如パリに歸還しフランダン外相と協議を續けてゐる事實に對し、これを以てフランス政府が再びドイツに對する佛ソ、佛英提携を强化する魂膽と解し頗る注目してゐる、更に又オーステン・チエンバレン氏のウイン及びプラーグ訪問說を以てフランス政府がドイツ政府のオーストリヤ及びチエッコスロバキヤ等に對する領土的政治的意圖を捏造放送し對獨共同戰線の展開に狂奔してゐるとなしフランス政府の報道に少なからず監視の目を向けてゐる

佛國總選擧 左翼又も勝利か

【パリ廿四日發國通】二十六日の投票日を目前に控へてフランス全國の總選擧熱は益々沸騰點に達せんとして居るが今回の選擧は六百十八の議席に對して四千八百七名の立候補といふ未曾有の亂戰に加へてイタリー政府のエチオピア遠征、ドイツ政府のラインランド再武裝等相續く國際公約の蹂躙に歐州政局の相貌は全く一變し、其結果はフランス政界分野の混亂を來し右翼各派が集團的安全保障體制强化による國際連帶主義を說けば左翼は共產黨迄が愛國精神を高唱する等未曾有の奇觀を呈して居る、而して廿六日中に當落が判明するのは定員六百十八名の中二百名內外とみられ、然も之により大體の動向は推定される模樣で、一般の推測では今回も前回同樣左翼の勝利に終る事は疑ひない樣である

卅年後を豫想せる各地都邑計畫
—技術的問題打合會議で決定—

延吉、北安鎭、洮安、承德の各都邑計畫の技術的問題打合會議は廿三、四兩日中銀俱樂部で開催、各都邑所轄縣主任者民政部土木司、軍、滿鐵、交通部、財政部其他各關係者出席して計畫案の審議を行つた結果多少修正並に一部の保留を除き最後決定をみたので該計畫の實行機關たる各都邑所轄縣に於ては可及的速かに之が實施に移る筈であるが右都邑計畫は三十年後の發展を豫想して各都現在迄の實績、特殊性、將來の發展性等凡有る角度からみた各條件を考慮に入れ民政部で定めた都邑計畫標準に基いて樹立されたもので各都邑卅年後の人口を左の如く豫想して計畫されてゐる

承德　十萬人
延吉　八萬人
北安鎭　八萬人
洮安　五萬六千人

パレスチナ民族抗爭 愈よ擴大惡化

【エレサレム廿五日發國通】聖地パレスチナに於るユダヤ人とアラビヤ人の間の民族抗爭は其後愈々擴大惡化の兆あり、アラビヤ人側には勞働組合が參加し、同情ストライキ大衆集會デモ等を連日敢行して運動は著しく政治的色彩を帶びるに至つた、廿五日アラビヤ人のデモ計畫は官憲の努力により辛うじて阻止され流血の慘事は回避し得たが、各地のゼネストは依然已む模樣なく政府當局も茲暫らくは手を拱ねて人心の平靜化をまつ外なき狀態である

一九三六年度ソ聯極東地方豫算

【奉天國通】ソ聯政府では滿ソ國境の情勢逼迫に鑑み極東施設の全般的强化を圖りつつあるが當地某關係筋に達した情報によれば過般ソ聯極東執行委員會總會に於て決定せる一九三六年度極東地方豫算は左の如くである（單位千ルーブル）

△歲入
社會化經濟收入　[illegible]
國民資金動員　[illegible]
其他　[illegible]
合計　[illegible]

△歲出
國民經濟投資　[illegible]
社會文化施設　[illegible]
國民經濟管理調整及び裁判檢閱機關　[illegible]
其他　[illegible]
合計　[illegible]

天羽情報部長 訪日滿人記者團招待

【東京國通】天羽情報部長は目下來朝中の滿人記者團李心炎氏以下六名を二十六日午後六時三十分芝紅葉館に招待、主催者側より天羽部長以下佐藤第一課長來賓として陸軍新聞班松村少佐、海軍々事普及部森少佐、滿洲國大使館より谷中山館員其他都下の有力新聞社幹部多數出席、天羽部長より左の主旨の挨拶あつた

昨年四月貴國第一次訪日記者團を御迎へした私は今又第二次訪日記者團を歡迎する機會を得たことを最も欣快とするところである、思ふに日滿兩國は兄弟よりも尙親密な不可分關係にあり、經濟的には有無相通じ政治的には相提携し以て相互に兩國の繁榮を期すると共に東亞永遠の安定を期し世界平和と人類の福祉に貢獻すべきである、日滿兩國民はお互ひに國情を知らなければならない、又他國の實情を自國民に知らせ自國の現狀を他國民に理解せしめ其際を開き正しき認識を深める事が新聞紙の使命である

諸君は何れもこの重大使命を荷はれる方々であり今回の御來遊は實にこの重責を遂げられる無上の好機と信ずる、就ては諸君は日本で視察せる政治、經濟、產業文化各方面の實情を歸國の上詳細に貴國民に報道され貴國の日本に對する認識を一層深めしめ以て兩國の親善提携を扶けられ惹いては東亞の平和に寄與せられんことを希望して已まない

これに對し滿人記者團を代表して營商日報趙夢麟氏答禮の挨拶をなし晩餐を共にしながら種々懇談、午後九時過ぎ散會した

英國東洋艦隊 神戶に入港

【神戶國通】我國へ始めて來航のイギリス東洋艦隊所屬航空母艦ハーミーズ號及び驅逐艦ダンキャン・テライト・ダッチエスはジョージ・アーサー大佐指揮の下に廿六日午後六時十分香港から神戶に入港した、艦隊は觀光の爲五月十一日迄在泊するが市中は之等一千餘人の碧眼水兵を迎へて大賑ひを呈してゐる

春季第一次競馬 四日目成績

▲第四競馬（一、六〇〇米、七頭）1寶石駒（二分二三秒八）2双葉 3三初 配當—單九圓二〇 2六圓五〇 複1五圓五〇 2六四圓〇〇 ガラ二五六圓〇〇 等外一六圓〇〇

▲第五競馬（一、六〇〇米、七頭）1玄武（二分二二秒）2新京輝 3晴流 配當—單一五圓〇〇 複1八圓五〇 2八圓三〇 ガラ1三四一〇 2八五圓四〇 等外二一圓三〇

▲第六競馬（二、〇〇〇米、七頭）1尙勇（二分〇一秒）2新京如龍 3菊龍 配當—單五圓九〇 複1六圓二〇 2一二圓五〇 ガラ1四一〇 2一〇四圓九〇 等外二六圓二〇

▲第七競馬（一、八〇〇米、十頭）1芦谷（二分三三秒八）2大風 3新勝 配當—單三七圓三〇 複1九圓一〇 2八圓八〇 3三一圓八〇 ガラ1九七六圓六〇 3一三九圓五〇 2二〇 七九圓〇〇 等外四九圓八〇

▲第八競馬（一、八〇〇米、四頭）1新鷹（二分二五秒八）2金飛黃 3金貴、配當—單六圓〇〇 ガラ1四八〇 等外四〇圓〇〇

▲第九競馬（一、六〇〇米、九頭）1井駒（二分一六秒四）2一二三 3寶榮、配當—單八圓四〇、複1七圓五〇 2ガ七圓九〇 3一六圓二〇 ラ1一、二〇九圓六〇 2三四五圓六〇 3一七二圓八〇 等外七二圓〇〇

▲第十競馬（二、〇〇〇米、六頭）1英貫（二分四九秒四）2林東 3一天、配當—單八圓四〇、複1七圓七〇 2一一圓〇〇 ガラ1六五七圓九〇 2一六四圓四〇、等外五一圓四〇

▲第十一競馬（一、六〇〇米、一一頭）1秋風（二分一八秒）2貫 3大連日昇、配當—單六八圓五〇、複1一五圓三〇 2三八圓〇〇 3一〇圓三〇〇 ガラ1一、一一一圓〇〇 2三一七圓四〇 3一五八圓七〇、等外四九圓六〇

▲第十二競馬（一、八〇〇米、十頭）1金榮（二分三五秒八）2廣洲 3日加里、配當—單七圓三〇、複1一〇圓四〇 2一〇圓一〇 3一〇圓六〇 等外〇〇〇

▲第十三競馬（一、六〇〇米、七頭）1盤龍（二分二〇秒六）2第二三友 3大隆、配當—單七圓六〇、複1六圓六〇 2カ圓二〇

▲第十四競馬（二、〇〇〇米

▲（六頭）1羽衣（二分五〇秒八）2一走、配當—單三六圓二〇 複1一五圓三〇 2八圓二〇

商況欄（四月廿七日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　後寄　歩

●大連金鈔票　寄付　引　高　安　出來高

▲五月十三日限　五月二十八日限

●大連鈔票銀大洋　出來高　現物　不申

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向　第一回 賣 一〇三、三七五　買 一〇三、六二五
▲倫敦向　第一回 賣 一志二片 三二分一　買 三二分七
▲紐育向　第一回 賣 二九弗 一六分三　買 八分七

▲大連爲替
▲上海向　一〇六、〇二五　六、〇〇
▲香港向　一〇六、五〇　一〇　出來高 四萬五千

株式相場

▲大連株式（短期）寄　引
▲奉天株式（短期）寄　引

各地商品市況

▲橫濱生糸　後場寄
▲大連麻袋

各地特產市況

●大連大豆　寄付　引
●同豆粕

新京取引所市況（四月二十七日後場）

現物（一石値段）寄　引　出來高
大豆　高粱　小豆　玉蜀黍　定期（混合百斤値段）

手形交換高（二十七日）

鮮魚小賣相場（二十七日）

品名　最高　最低

南滿

當時の凄壯偲ばる、旅順閉塞模擬戰

五月三日旅順を中心に擧行

【大連國通】五月三日旅順に於て擧行される閉塞記念會は旅順空前の盛觀を呈すべく殊に午前十時五十分より約一時間に亘つて行はれる閉塞模擬戰は海上攻擊軍として第十四驅逐隊の驅逐艦三隻曳船三隻及六隻陸上防禦軍は港務部陸戰隊を老虎尾海岸黃金山に配置して港口閉塞の模擬戰を展開するが近代科學の粹を集めて勇猛果敢な海陸攻防演習は蓋し當時の凄慘さを髣髴するものがあらう、又二、三兩日開催される記念展覽會は閉塞艦型、記念品のほか内外不出の貴重資料が陳列される筈で期待されて居る、尚三日には滿鐵は臨時列車を三本運轉し五割引運賃で四千名を旅順に運び、バスは廿臺を增發して六百名を輸送する筈である

自動車事故被害者の救濟機關設立

＝交通安全協會乘り出す＝

【大連支社發】自動車營業取締に關し新に發布された取締規則の實施期を前に關東州交通安全協會では愈本格的な事業統制に乘り出すことゝなり自動車事故による被害者救濟機關の設立を目論でゐる、近く協會役員其他運輸營業者を招集協會案を骨子とし協議會を開催する筈であるが右案による自動車事故共濟部は同協會の外部とし特別會計により會員約七百名より月割會費を徵收、之れ等の積立金を以て被害者に對する弔慰金、營業者側に對する不具廢疾、死亡時の救濟、破損車に對し補償等に支出する事になつてゐる之等の被害程度の査定に就ては市内各署及各機關より選出の委員により審査委員會を設けその審査決定を俟つことになつてゐるが本案の實施は被害者救濟のみならず從業員の福祉施設としても機宜を得たものとして業者及一般よりその成果を期待されてゐる

内鮮滿貨物打合會議

別府で開催

【奉天國通】内鮮滿貨物打合會議は來る五月十二日より三日間別府に於て開催されることとなつたので總局より小池旅客課長以下五名が出席することに決定、近く出發することとなつたが、同會議は主として現場關係の連絡打合せを行ふこととなつてゐる

花見時控へ不正商人取締

【大連支社發】花の嬌笑をも待たで三々五々の人達は星ヶ浦、老虎灘の昨今を陽だまりの暖かさに醉ふて、今年の蕾の固さをかこつてゐる、毎年早咲きの中央公園滿倶球場脱衣場の杏花がこの二三日白い齒を見せて笑ひかけてゐるが何れはこの暖かさ一週間を出でずにちらりほらりの花便りも聞けることであらう、この花見時を控へて警察當局では飲食店等に對し花見辨當の調製に警告を發し業者の自覺を促すことになつたが毎年花見時に問題になる不正商人の跋扈に對しても嚴重取締ることになつてゐる

關東州會長會吏員日本視察

【大連支社發】州内會長行政運營に資し日滿國民の融和を計る目的の爲めに關東州内に於ける會長會吏員十名は大連民政署員に引率され五月十二日陸路新綠けむる日本へ視察見學の旅に上ることになつてゐるが一行は京城崇仁面の視察をなし九州を振り出しに東上各地模範村の施設事業を見學の上六月三日歸連の豫定である

滿洲は現金なしで旅行が出來る

ビューローが團体旅館券發行

【大連國通】滿鐵では從來内地鮮滿案内所で扱つて居た團體旅館券をツーリストビユーローに移し、廿五日より實施する旨發表したが、之は鮮滿を旅行する五人以上の團體客で滿鐵關係旅館に投宿するものに限り豫約發行されるもので、從つて今後は乘車券旅館券及びビユーローのクーポン券があれば滿洲は現金なしで安全に旅行出來る事になる

店員給仕諸君の爲め第一回學力檢定試驗

受驗申込者早くも殺到！

【大連支社發】家庭の事情等で正規の中等教育を享けず直ちに實社會に進出した小店員給仕等の爲檢定試驗により學力考査の上檢定證書を與へんとする大連商工會議所の第一回商業實務員學力檢定試驗は發表と同時に社會各層の反響を招き六月の試驗期を前に申込殺到してゐる本試驗は向學心に燃ゆる青少年の爲めに甲種商業卒業程度の學力を標準として商事要項　商業地理・商業簿記、商業算術、珠算、作文英語、滿語等につき試驗を行ひ合格者に學力檢定證書を與へんとするもので毎年六月一回之を行ふことゝなつてゐる

大連製氷會社工場擴張

【大連支社發】昨夏氷塊需要期に際し製氷能力低下の爲め氷饑饉を現出し兎角の批難を浴びた大連製氷會社では本年の需要期に先立ち製氷能力を引揚げるべく本社並に榮町工場の擴張工事を進めてゐたが殆ど竣成を見た、同工場の製氷力は百トンであつた、今後は百八十トンを製出し得べく新に設けられた二千三百トンの貯氷庫設備により氷塊需要期を控へ萬全を期してゐる

▲……めだか捕り（内地便り）

國防婦女會錦州支部設立

【錦州國通】協和會錦州事務局並に錦州省公署、錦州地區司令官が主體となり愈々五月上旬を期し大滿洲帝國國防婦女會錦州支部を設立することとなつた

吉林警廳防火自動車購入

【吉林支局發】當地警察廳にては近來火災の件數が增加の傾向にあることに鑑み一般民衆に對し防火思想を普及徹底せしむべく防火宣傳ビラ三萬枚を印刷して配附する一方、保甲牌員に對しても防火に關する注意を與へ各戸の風呂場炊事場其他火となるべき個所の修理を强制的に行はむる等各般の手段を拔かりなく講じつゝあつたが、此程中央より消防用として最新式を誇るフオード會社製の消防自動車一台附屬品共大枚一萬二千圓のものが配給され、從來の消火作業に器具の不完全より來る遺憾の點が全く一掃さるゝに至つたので、警察も消防も大に勇氣を增し豫防に全力を注ぐと共に一旦失火の場合にはこの新器を利用して十分に防火の實を擧げんものと大意氣込んでゐる

吉林妓館の妓捐全廢

【吉林支局發】從來當地滿洲國側妓館に於ける妓女に對しては妓捐の名目の下に妓女自身より一人一ヶ月當り一等三圓八十五錢、二等二圓三十錢四等七十七錢と云ふ相當高率な税金が課せられてゐたが、吉林市公署財務科にては泥沼の中に喘ぐ薄倖な彼女達にこの負擔を課することは非人道的なことに着目し、去る二十二日より妓捐を全廢し日本内地同樣遊客より遊興税として遊興費の百分の五を徵收することに改めたので、妓女たちは歡喜の聲を揚げてこの善政を大に謳歌してゐる

趙尙志匪を擊退

【ハルビン國通】二十六日午前四時頃阿城縣永增源に趙尙志匪第二國二百名襲擊し來り自衛團二十名の武裝を解除し人質七、八十名を拉致逃走したので阿城縣治安隊は行政警察官の一部を出動、同四時三十分これと遭遇、激戰四時間の後人質十三名を奪還、小銃十五を鹵獲、擊退した、この戰鬪に於ける匪賊の損害は遺棄死體廿五、負傷多數、治安隊損害は戰死三、負傷六であるなほ右戰鬪に於ける治安隊の奮鬪目覺しきものあり、濱江地區司令官は同隊に賞金を贈るところあつた

ソ聯の勞力搾取

勞働時間十二時間

强制勞働所の苛酷なる條件

【ハルビン國通】ソ聯内に於る强制勞働に關する實例として當地某所に達した報告によれば漠河對岸ノウイソイカの强制勞働所に於る勞働條件左の如し

起床午前六時、勞働時間午前七時より十二時間、食事朝食午前六時半、晝食正午夕食七時半、勞働人員男四二千、女四五百、勞働の種類、男は木工、木材伐採、雜役、女は裁縫に從事、四舍は板張式バラツク、寢臺平板四段、一室に三百人乃至二百人收容され頗る狹隘である、食事は木材伐採勞働者は黑パン一斤半以上の如き惡條件で勞働する結果一日平均百名の病人を出して居り、衞生風紀頗る紊亂の狀態にある、尙五十名の軍隊が之の警備と强制に當つて居る

滿洲國軍訪問記（八）

五常縣治安隊の活躍

凡百の匪擊滅

ハルビンにて　杉原特派員

四月一日午前六時ハルビン站發拉濱線行列車に乘つた記者は同十一時半頃五常縣治安本部を訪れた、縣城の南門近くにある古びた兵舍である

改編以來縣下の不良なる治安狀況に禍されてここだけは凡そ文字通り矢繼早に出動また出動と云ふ慌しさを見せてゐる、先づ第一次出動は改編直後の三月四日、日滿軍の配備變更に乘じて匪團は跳梁し萬寶山は天崗、双甲南、全德らの合流匪三百餘名の包圍に陷り治安隊は約一週間に亘つて之が掃蕩に活躍した、次いで三月十七日の第二次出動は「福富、增山兩中尉歡送迎討伐戰」と云はれるもので步兵第〇〇と合作し二道河子西北方板子溝に蟠居する野狼、仁義、四季好、雲中飛、張附らの合流匪二百五十名を掃蕩して交戰實に十一時間、敵の遺棄死體運搬の橇は陸續として十數日も續いたのであつた、更に第三次出動は所謂三角地帶に於ける天崗匪三十餘名の襲擊で現在引續き各部隊とも出動中である　□

記者が訪れた時恰度福富中尉はどてら姿に寛いで古い戰鬪報告を書いて居る所であつた部屋の中は狹苦しく雜然として居る、其の隅の方で軍需の山本中尉がシャツ一枚になつて石油箱をこじ開けて居る、「統制部から入金數云つて來るのですが、戰鬪報告書を書く暇がないのです」と福富中尉が云ふ、見廻したところ本部は嘘のやうな落付きを見せ田舍家の春先きの感じであつた、がやがてこれは戰火の只中にある無氣味な靜寂さである事が判つた、縣下に蠢動する匪賊の群は猫に睨まれた鼠の樣にこの本部から射すくめられてゐるのである、記者も間もなく動員されねばならなかつた、そこへ最近呼蘭から轉任して來たと言ふ高梨中尉が乘馬姿で入つて來た、この高梨中尉が初めて來た時の話である「この附近にはどんな匪賊がゐるか」と訊いたものである「大分居りますよ」と福富中尉は先づ張邁秒から指を屈して三十五人まで數へあげた、「ま、待つて呉れ、もう良いです」と、高梨中尉が悲鳴をあげると「未だ十四、五人殘つてゐますよ」

この福富中尉が部下を愛することは非常なもので、神樣のやうに慕はれてゐると聞いたが、記者はまたこの人は討伐の神樣だと云つた感じを受けた、どてら姿で寛いでゐると云つては失禮だが、その心格恰は爺々むさい百姓の樣だが部下を思ひ治安を案じて憂國の念に燃えてゐるのであつた、かうした日系軍官諸士の滿軍に就ての感想とはどんなものであらうか、それは記者の聽きたいところである

「近代的組織的訓練を缺いでゐる滿軍はそれだけに各個に離すと小部隊なら確に强味を發揮します、殊に匪賊伐討は言語風習を同じうし且つ地理に明く匪賊の内部情勢を知悉してゐる關係上、その誘出方法や策戰は仲々巧妙を極めたやうです、彼等に短距離に於る機敏な行動を要求することは出來ないが、一日二食の粗食に甘じて十里乃至二十里の行軍に良く耐える、宿營地から次の宿營地まで休みなしにぞは々々步いて行くのです、また彼等は目が銳く耳が機敏で警戒の任に當つてゐる時ほど「此奴眠つてゐるな」と思ふと、仲々どうして油斷も隙もないのです、討伐に出掛けると遙か山蔭に敵を目付けて「居るぞ、居るぞ」と言ふそこで僕たちは双眼鏡を取出して見ると云つた具合です

世界では滿人が首や耳を斬るため殘忍性の現れだと見てゐるますが、これは宗教的に今尙再生說を信じてゐるからで殘忍性の現れと見るのは間違つてゐます、兵たちは一旦信頼すると絕對信じて來る、そこをそらしてはいけません、討伐に行つても僕らの前に立塞がり身をかばつて來るのです、どんな危險な場所でも離れかゞ立つてゐます、かうして近々に見る滿人は斷じて從來の支那人觀とは違ふ、そんな滿人ぢやないんです「彼等は嘘を吐き蔭で惡いことをやる」さう猜疑視するのがいけない、純朴な兵たちは我々の本心に對して子供のやうに見先きが利くのです、大切なことは彼等の面子を立てゝやるといふことです毆る時でも人前で毆らないやうに、從來金と權力以外なかつた、彼等は面子で生きて來てゐる、彼等の面子は生きるための面子なのです」□

午後五時過ぎ記者は武裝して福富中尉と通譯の宋出年と三人で部隊が宿營してゐるといふ次の驛杜家に向つた、愈々待望の討匪行である（未完）

家庭

生活と砂糖消費

お菓子を喰べませう

一國文化發達の程度は砂糖消費量で判る

獨逸の諺に「動物と人間との差異はビールを飲む事だ」と云ふのがあるが、或る藥學者は「文明の程度は砂糖の消費量に依存する」と云つてゐる。事實砂糖は文化の發達と共に益々その需要が増加し、現在では生活の必要品となつてゐる

我國に於ける砂糖消費量をみると、明治の終りから大正の初めにかけて一人當り一斤ぐらゐであつたのが最近では二十斤から二十一斤ぐらゐに増加してゐる。然して各國一年一人當りの消費量を一九三〇年の統計に依ると、丁抹一一九・三封度、英國一〇八・五、米國一〇七・一封度、佛國五六・九、獨逸五三・六、伊太利二一・八、日本二三・八封度となつてゐる。即ち是等の國は日本の數倍乃至三倍となつてゐるのである。これにみると先進國は

日本 よりも砂糖需要が多く從つて日本も此の點からいつて未だ〳〵砂糖消費は文明先進國と比較し得ない状態である。勿論外國と日本とが食料を異にしてゐる點もあるが、砂糖の生活に於ける重要性を充分認識してゐないとも云ひ得るのである。我國の消費量は年々増加し毎年四十二萬ピクル位づゝ増加して行つて居るのであるから文化の進歩と共に増加してゐると見る事が出來る。從つて將來に於て列國と比肩し得るに至るであらう。特に最近に於ける菓子機業の世界的躍進は良發展してゐるため、低廉なる砂糖生産も近き將來には可能であらう。

×　×　×

外國 の例をみると、大體砂糖消費量の六割は菓子に利用されて居て、米國のナショナル・ビスケット會社などは同賣上げが二億ドルに達してゐる、日本ではビスケットの釜が、全國で八十本餘りはあるが、ナショナル・ビスケット會社では一會社で日本の數倍の釜を持つてゐる。英國ではカドバリー・チョコレート會社一つで大きな町が出來てゐるといふ有樣で、國民の菓子消費が頗る多量であり生活に適した慰安となつてゐる。我國では菓子と云ふものがまだ〳〵日常生活の中に普及せず生活と切り離されてゐるが、これはもつと生活の中に取り入れてゆくべきであらう、といふのは、日本の常食は外國と比べると非常に糖分が少く從つてそれのみでは肉體的

疲勞 の回復に不充分なのである、それ故に樣々な手段と形態とに依つて糖分を攝取し活動力を旺盛にする必要があるのである。現在日本の菓子の年産額は約六億圓であり、今後益々増加の傾向にある。要するに日本人の砂糖消費はもつと生活と緊密に結合さるべきであり、常食の糖分缺乏をおぎなうべきであらう。

(肺病は)

攝生と養生で治るもの

決して落膽をせずに抵抗力を養へ!

大抵の人は肺尖カタルを非常に恐るべき病氣の樣に思つて居る樣でありますが、實はさほどのものではなく、養生によつては極めてよく癒るものであります、大體結核菌はさほど恐ろしいものではありません…體粘膜面に附着したと假定しても、それは大抵粘膜組織の中へ入ることがなくたゞ粘膜の外にあつて

他日ある機會に 痰などといつしよに外へ排泄されたり、あるひは腸胃を通つて便中に排泄されるものです、ただ粘膜組織の抵抗力が弱い人になつて初めて組織内に入るものでありますが、たとへ組織内に入つたとしてもそれがごく少量である場合には、血液や細胞の力によつて無害に體外に排泄されるのでさほど恐しいものではありません、しかし平生養生の惡い人になると、その菌が完全に排泄されないで最も抵抗力の弱い場所に寄生して、結核性の肺炎カタルや肋膜炎を起すのでありますが、尚ほいつたん肺尖カタルや肋膜炎に罹つた人でも抵抗力を弱めない樣に注意して居れば再發してもだん〳〵治癒してゆく

傾向を持つて 居るものであります、從つて日頃身體の抵抗力を養つておくことが何より大切なことであります、身體内には常に治癒的機能が行はれてゐるものでありますから、これを巧に善導してゆけば治癒することは決して不可能ではないのであります、つまり結核の際痰の出るのも菌を體外に追ひ出す働きであり、また肺に空洞のできるのも病的の組織と共に菌を體外に放逐して瘢痕を形式せしめ樣とつとむる傾向であります、要するに身は天然自然の大抵抗力を有してゐるものでありますから、いろ〳〵の不養生のためそれを弱めるのでありますから眞の養生法を勵行して行けばまたこれを舊に恢復することができるのであります、眞の養生法といふのはまづ食物で云へば

肉魚卵などに 偏せず、いはゆる完全食をとる樣に心がけ自分の腸胃に適當な分量をまもり、病症の輕重によつて絶對安靜をまもらねばならぬこともあります、許さるるならばなるべく身體を日光に浴し新鮮な空氣を正しく、吸し、尚皮膚や筋肉などの强健をはかる爲に摩擦法を行ひ便通を整へ、適度の睡眠をとつて精神の安靜をはかることなどであります。どの位が適度であるかといふ樣な詳しいことはむろん病の輕重によつて異なることでありますが、常に自分の身體及び精神に適する樣に自分で研究し其のわからぬ處を專門家についてただす樣にしてゆけば、自然と明かになつてくるものです、そして醫師に治療してもらふ場合には、自分の信頼のできる人に一任して決してそれを疑つてはなりません。

美容メモ

アイロンの—上手な熱し方

ガスとか、電氣又は炭火を使ひますが、炭火で熱したときは、灰をよく拭かなければなりません。[illegible]

（灰は）[illegible]

（同じ熱）[illegible]

（火勢を）[illegible]

お料理獻立

季節料理獻立

只今味がよくて澤山出廻つてゐるにしん料理と新玉葱のお惣菜向きのぬたを申上げませう。

一、にしん丼

【材料】(一人前) 御飯お米で一合、生にしん二十匁(片身位)、たれとして酒一勺、みりん一勺、醤油一勺

三枚におろしたにしんの片身に鹽をふりパラ〳〵お酒をかけて後燒き一寸切とし庖丁でつぶし御飯の上にのせたれと七色唐辛子等をかけます。

二、にしんのつけ燒

【材料】(一人前) 生にしん二十匁(片身)、新玉葱半分、たれとして醤油大匙三杯、砂糖大匙一杯

にしんの片身は二つ切新玉葱の卸したものとたれを合せた中へ浸け三十分して燒きます

三、新玉葱といかのぬた

【材料】(一人前) 新玉葱の莖十匁、油揚大きいもの〻五分ノ一枚、いか足をのけて一枚の五分ノ一、辛子少々、酢少々、砂糖小匙半杯、味噌小匙一杯

新玉葱の莖を四つ割一寸切としてゆで油揚は熱湯をかけせん切、いかは皮をむいてせん切、熱湯をかけみな酢洗ひし辛子みそ砂糖を合せ酢でのばし此中で和へます。

今日の話題

△日蓮上人が三十二才で安房の清澄寺の一角に立ち、海を望んで「南無妙法蓮華經」の題目を高らかに唱へ、開宗の宣言をしたのが建長五年の四月二十八日でした。

△河村瑞軒によつて大阪淀川の支流安治川の竣工しましたのは元祿十一年の同じ日であります。

△東京上野の帝室博物館は明治十五年の四月二十八日に落成したのであります。

△今日が誕生日に當る人に德川時代の儒學者伊藤東涯(寛文十年)があります。

ラヂオ けふの番組

(M・T・O・Y 新京放送局) 廿八日(火曜日)

(朝)

六・〇〇 建國體操
六・一〇 ラヂオ體操(東京)
六・四〇 中等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七・〇〇 中等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七・二〇 氣象通報(大連) 引續き朝の音樂(レコード)
八・三〇 經濟市況(東京)
九・〇〇 早晨演奏(大連)
九・二〇 料理獻立(奉天)
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 家庭講座(哈爾濱)
一〇・二五 家庭メモ(大連)
一〇・三五 經濟市況(東京)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
一一・四〇 ニュース(東京・引續き新京)

(晝)

〇・〇一 經濟市況(大連引續き新京)
〇・二〇 晝の演藝(レコード)
一、小唄物語 夕日は落ちて 泉 詩郎 リーガルオーケストラ
二、端唄 四季の唄(替唄) 和香 ラ伴奏
〇・四〇 建國體操(奉天)
一・〇〇 白天演藝(滿語)
一・二〇 ニュース(滿語)
一・三〇 市民講座 關於新京特別市上下水道 新京特別市政公署衛生科長 張　有
一・五〇 下午演奏(大連)
二・〇〇 經濟市況 引續き日用品値段(滿語)
二・五〇 經濟市況(東京)
三・〇〇 ニュース(東京・引續き新京)
三・三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
四・三〇 ニュース(鮮語) 引續き演藝(鮮語)
四・五〇 ニュース(英語)
五・〇〇 子供の時間(奉天) お話 オリムピック土産 平野 進
五・二〇 コドモの新聞(東京) 關屋五十二

(夜)

五・二五 氣象通報・番組豫告
六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 今晩の番組・官廳公示
六・二五 政府公報(滿語)
六・三〇 講談 祐天吉松 神田小伯山(東京)
七・〇〇 歌謠曲 德山 璉
伴奏 小唄 勝太郎 三味線 富奴 日本ビクター管絃樂團
一、……德山璉
(イ)僕は朗らか 嵯峨しのぶ作詞作曲
(ロ)雨に濡れて 水上不二男作詞 松平信博作曲
(ハ)旅の人形師 長田幹彦作詞 鈴木精一作曲
(ニ)さくらさくら 西條八十作詞 嵯峨しのぶ作曲
二、……小唄勝太郎
(イ)滿洲くらし 宇津江精二作詞 佐々木俊一作曲
(ロ)淡雪双紙 長田幹彦作詞 松平信博作曲
(ハ)夕風 長田幹彦作詞 松平信博作曲
(ニ)勝太郎くづし 宇津江精二作詞 佐々木俊一作曲
七・二五 ラヂオ小説(東京) 黒猫(下) 德川夢聲
八・〇〇 義太夫(大阪) 由良湊千軒長者(山の段) 浄瑠璃 竹本小春太夫 三味線 鶴澤友次郎
八・三〇 時報・ニュース(東京) 引續き・ニュース
八・四五 ニュース・經濟市況 氣象通報、番組豫告(滿語)
九・〇〇 舊劇(奉天) 鳳鳴戲劇社 洑門寺 老生 吳醒亞 花臉 范紹先 丑 戴仲宣 場面 劉鳳池 外六名
一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

アランポウの「黒猫」

ラヂオ小説 德川夢聲の獨演

後七・二五 東京より

今晩は結末を語る

エドガー・アランポウ作　森村豐　澤田卓爾譯

幼少の頃から、柔和で情け深い性質でしられてゐた自分は、動物が好きで、いろいろな生物を兩親からあてがはれて遊び暮してゐた。其後相當早く結婚した、そして多くの動物を飼つてゐたが、其の中に一匹の大きな黒猫がゐた。其の黒猫はプルート(地獄の王)といふ名であつた。數年の後暴飲のたたりで、日増に氣難しくなり苛立しくなり、遂には事毎に腕力を振ふやうになりある夜ひどく醉つて歸つたとき、猫が手に齒をあてちよつとした傷を負はせたのを怒つた自分は酒の上とはいへ黒猫の片眼をナイフでついてしまつた、翌朝になつて恐怖と悔恨の相ひ半した氣拜を味はつた。未だに猫に對する愛情が自分に殘つてゐるにもかゝはらず猫は自分をさけて行くのを見て憤怒押へがたく又々酒に依て黒猫プルートを殺してしまつた。其の夜火事といふ喚聲に眼を覺した時は、家中は燃え上つてゐた妻と召使とで、火焔の中からのがれ出た。家は丸燒けとなつたが、自分が毎夜寢てゐた寢臺の頭の方の壁だけが燒け殘つてゐて、しかも其の壁に死んだ猫の姿が薄肉彫に刻みつけられてあつたのを見たとき恐愕と恐怖に襲はれた。…と、云ふ前夜のあとを受けて今晩はその結末を語る。

—◇—

ある夜、下等な酒場で、酒の大樽の上に、黒いものを見出した。それは自分の家にゐた黒猫と同じ大きさの黒猫であつたが、唯一ヶ所胸こ白色の斑毛があつた。觸つて見ると猫は喉をならし、軀を手に擦りつけてきた。酒場の主人に聞くと、今日迄見たこともない猫であることが分り、それをつれて歸宅した。處が私の豫想は反對となり、日ましに嫌氣がさして來た。それは胸の斑點の形が變つて薄氣味の惡い形となつてきたのでますこの黒猫から自分はのがれる樣になつてきた。而しこの黒猫は夜となく晝となく自分のそばから離れることなく姿を見せてゐる。今は振り拂ふ力さへなくなつて毎日惡夢に追はれてゐた。ある日妻と古い建物の穴倉へ降りて行つたとき猫が足の間へ入つて眞逆樣に落ちそうになつたのでカッととりのぼてしまつた。思はず斧をふりあげると、妻は斧をもつ手を押へたので妻の頭を打つた妻はその場に昏倒した氣がついた自分は愼重に妻の亡骸を壁の中へ入れてしまつた。その後黒猫の姿も見へなくなつたので猫に對する恐怖がなくなつた。數日後警官の一隊が來た時ステッキで壁をたゝいた事からしらずに一緒に壁の中に入れてしまつた黒猫の叫び聲によつて自分の罪が警官の一隊に知れることとなつた。

時々はある地元放送

講談「祐天吉松」

神田小伯山師の讀切り 【後六・三〇】

天保年間江戸は本郷三丁目に加賀屋七兵衛と云ふ大金持が有りました、夫婦の中に娘が一人名前をおぬいと云ふ、其のおぬいが兩國廣小路に遊びに行き歸つて來て病氣になる、醫者にかけたが全快しません、或る日佐竹樣に屆ける繪巻物が出來て來たので、娘に見せると、カンザシで象の繪の所に穴をあける、七兵衛は驚いて神田佐久間町に經字屋茂助を呼びにやると茂助は留守で若い者吉松が來て仕事をする、吉松は祐天吉松と云ふ泥棒で兩國廣小路で七兵衛の娘おぬいのカンザシを盗んだを見つかりおぬいに意見され茂助の所で働いてゐる、其の吉松におぬいが戀わずらいをして居る事が分り茂助の橋わたしで目出度吉松が加賀屋の養子に成ると云ふ吉松、加賀屋へ婿入りの一席……。

義太夫

"由良湊千軒長者(山の段)"

後八時大阪

文樂座　浄るり…竹本小春太夫　三味線…鶴澤友次郎

うた人の、三十一もじの種となる由良の湊の風景は筆に及ばぬ詠とてまだとけやらぬ谷の戸の雪をさそへる鶯の聲に春をぞ迎へける、浮世とはいつの浮世に始まりし其うきことの身につもる對王丸、安壽の姫人、商人にかどわかされ三庄太夫が手に渡りしづが手わざの鎌汐汲桶のおもきよりおもき思ひの父母に死での別れ生別れ日毎の別れ姉弟がし姉樣、今日は尚しもお顔のやつれ、お心惡ふござりませぬか、とゝ樣にも母さんにもお前一人を力草わづらふてばし下さんすなと、くどけば姉も打しほれヲヲ姉弟なりやこそ其れに姉を大事にかけてたるコレよふにならいでなんとせう奥州五十四郡の主、判官殿の忘れがたみといはるる身が浮世をしのぶ忘れ草といやしい業の下主奉公、毎日々々三荷の汐きのふはしづに助けられ數を合せし夕べのしぎ、今日はたれが助けてくれふサア山へ行きやわしもーしよにしばからふサアサアおぢやと先に立行けばたもとにとりすがり姉樣わしと山へ往てお前の汐はたが汲ます、人に汲んでもらふてさへ、ぶち打擲の棒ざんばいつらい苦しい艱難も姉弟一緒におればこそ辛抱も成りまするひよつとお前の身の上にもしものことがあつたらば、(詞)わしやなんとせうどうせうぞサア濱べへお出で遊ばせ、わたしもともに汐汲まふ(詞)ヲヲの親身なくなくしぼる袖たもと見るより對王丸は鎌追取り自害ちがふたかコレ弟何故死ぬるともぎはなす。其手をとつてこれ姉樣何故とは聞えませぬ、お乳やめのとに侍れたる姉弟が今は寒夜のあらむしろ、いやしい土民にふまれたりたゝかれたり口惜しいとも無念なとも苗字のけがれ我身の恥姉樣殺して下さんせヲヽ道理ぢやもつともぢやわいのふ、扇の橋のうきなんぎ力とたのむ要もちりちり、後は足弱追手のあやうさ救ふてくれると思ひの外、兄弟のみか母樣迄人買に賣り渡され、あらふことかあるまいことか世にも稀なるこの里の三庄太夫が胴慾心、賣渡されし憂き、つらさ。おいとしや母樣の何國にござるか知らねど朝夕、行時も二人が事思ひ暮し泣くらし、さぞなつかしう思ふて、ござろコレ親子は一世死で未來であるればつれない命、生ては居ぬとくどきたつれば弟もなんぼあをうと思ふてもどこを尋ねるしやうどもなしましておよわい生れつき涙の種が病となるもおかくれなされたら生て甲斐なき世の中に死にも死れぬ姉弟を神や佛もこれほどまで、みすてたもふか恨めしやと互にひつしと抱付前後正體泣沈む心ぞ思ひやられたり、いつまでいふても返らぬこと逐ふては又難儀そなたも山で柴仕業。姉も濱へ行さますほどにけがせぬ樣にしてたもやアイそんならおまへもけがせぬやうに頼む頼むと泣別れわかれが辻を右左一足いては立どまり坂へかゝればコレ對王まだ四方山に殘る雪手足がこゞへてたまるまい必ず木の根につまづいて谷へおちてたもんなやといふも次第に遠ざかりヲゝイヲゝイと姉弟が同じ思ひに引足の姉さま汐にさそはれ弟は又たまはるなと顔見ゆるまで延上り呼べどさけべど三彦の音はこだまか松の風吹はらび行くら汐衣、姿陽る春霞涙なかに辿り行く。

學藝

文藝と体育の合一（上）

奥　勝久

文藝と體育の合一に付て、長尾愚二氏が甚だ興味あるものを書いていたが、文藝に趣味を持つて居られる諸氏には是非とも批判していただきたいものであつて、斷片的ではあるが御紹介しよう。

1

故芥川龍之介氏の主張によれば「文を作るのに缺くべからざるものは何よりも創作的情熱である。その又創作的情熱を燃へ立たせるものは何よりも或程度の健康である。瑞典式體操、菜食主義、複方ヂアスタアゼを輕んずる者は文を作らんとする者の志ではない」と云ふにある。

2

此の言説は芥川氏が得意のアフオリズムの形式を以て書かれたる斷片語ではあるがブルプロのいづれに屬する作家をとはず、いやしくも文を以て身を立てる者の記憶せねばならない永劫的名言の樣に思はれるのである。

3

此の斷片語に付て深く論及する前に次の事實を指摘せねばならない。日本の作家にして西洋作家の如く、精力的なる長篇小説の出來ない事、日本作家の體的貧弱から來る思想上の病弱が原因となり死を結果とする幾多の事實。此の事實を認めたる以上は、吾々は如何に優れたる作家といへども體育を味方にこそすれ敵とする事は出來ないのを認めるであらう。

4

然しながら體育を不問に附する作家は崩壞し、又崩壞しつゝあるや否やと云ふ事は最早や吾々體育に關心する者の問題ではない、吾々の問題は體育と藝術とは一致すべきものか又對立べきものかと云ふ

二つの問題である故に吾人の討論は今や一齊に此處に向けられなければならぬ。

5

更に此問題は體育家とか、藝術家とかの一部門に屬する人間の問題とするよりも、廣くこれ等を生活化せる社會的機構たる大衆にまで、さらけ出す所に共通の新しい問題が生じて來るべき筈である。

6

スポーツ文藝の出現を提唱する人は次の樣に云ふ。『一つの新しい傾向とか、一つの新しい生活態度があると、それに附隨して新しい文藝があるものだとする、例へば唯物史觀をふりかざすとプロレタリア文藝が湧出し、感覺的イデオロギーによれば新感覺派なる文派で產まされるものだとすれば、この新しい傾向なる進取的・實際的・樂天的希臘的・現世的精神たるスポーツも文學的表出をなす事が出來る筈である、少くとも現社會機構の諸現象を見て、そのテンポなり、リズムよりスポーツ性を認めざるを得ないであらう。』と云ふている。

夜間飛行

それはやさしい錯覺であつたと。

赤い豆ランプ
青い豆ランプ
それら翼に灯る豆ランプ
爆音も豪快に
または遠くやさしいうなりとなり
夜空を翔ける飛行機よ
仰ぐ眼に輝やかしく
近代都市風景
宵闇に浮出して光るのは
ネオンばかりでない
明日の戰爭へ――
いま科學の精致が天翔ける

しづまの温み
犬
氣流を 縫ふて
飛んでゐる
ようやくに
ようやくに

春耕

淀野　寥

朴　朴　朴
僕は　大地を耕してゐる
春の慈雨にぬれた　柔らかな土のなかには
鮮やかな　芽があるだらう
淡綠の　可愛ゆい芽は　俺の瞳である。
×　×
汗ばんだ
肌が
ひさかたぶりにあびる　陽のなかで
明るい　こげ茶いろの唄を
流してゐる。
×　×
朴　朴　と
俺の情想は　春にめばえてゐる
溫情を　包むで打ちこむくわの先で
土は　俺の好きな匂ひを燻らしてゐる
飾りつけのない　祭品をもつてゐる土
しつかり張りつめた土地を
破つてくる芽を求めてゐる
俺

匂ひ

春らしい
土の　柔みをおぼえる。
をんな
かげろうの　ような
想ひを　こめた　くちづけを
こよなくも
こよなくも
しづもりの　いぶきに　甘く
×　×
うけとめし　宵
月の　出てゐる
窓の　春

般若心經（三四）

鹽谷壽石

文日

「得阿耨多羅三藐三菩提」

大同廣場にて

棚木一良

私は大きな半徑を
ぐるりと、まはつた
歩きながら
私は遠心力にめまひする
さて南嶺への道は
これだつたか？
私は不思議な心になる
私は遠心力から解放された
そしてとんぼ返つたやうな心で
左側の道端に
立停つてうなづく

獵

銃聲の
野邊　はるかに　消えてかも
落ちたらしい

官場現形記（42）

李寶嘉作
山泰裕譯

＝第四回の七＝

やがて日暮となり、舞台では銅鑼を暫らくやめて、お祝ひをする準備にかかつた。主人と夫人とは一度奥へ這入り、きらびやかな衣服に着換へて出て來た。二人は正面に立つて衆人の行禮を受けた。最初には自家の者、次には戴升に率ゐられた使用人たち。その戴升もけふはきちんとした服裝をしてゐた。みんなが禮をすると主人は上の方から禮を返した。夫人もニコニコしてゐた。そこへ役所の下つ端の連中もお祝ひの意を表しにやつて來たが、黃道台はみんなことわつてしまつた。ただ錢典史だけは、上等の服を着てヅカヅカと這入つて來、ていねいに挨拶をしたのであつた。奥樣にもぜひお眼に掛つて、と言つたが、もうその時には夫人は奥の方へ這入つてしまつてゐた。黃道台は、格式張つた態度で彼に對し、此處で芝居を見るやうにと言つた。錢典史は

「卑職は別人とは比ぶべくもありません、勿論此處で伺候致しますです。」

と言つた。みんな席に坐り再び銅鑼は打ち鳴らされた。芝居の曲目は次ぎ次ぎに重ねられ、十二時半まで大騒ぎをやつて、やつと諸事を終つたのであつた。

さて、此の日、お祝ひの贈り物を持つて來たものも相當澤山にあつた。それらは何れも酒、菓子類、掛物の類が多かつた。戴升が一人でこれの管理をやつた。誰れそれが何を持つて來、その使ひに幾ら遣つたかなど一々はつきり帳面に記して置いた。そして一方、自分でも門番として受ける心付けを取つたのであるそれには二弔のもあり、一弔のもあつた、持つて來ただけそつくり貰つたのである、塵も積れば山である、合計して見ると事實少額ではなかつたまた中には官吏候補級の人物たちで、黃道台と讓院とは仲が良いといふことを知つて、うまく取りなして貰ひたいと思ふものだから、百兩或ひは五十兩と、でなければ衣料や金器を持つて來たのもゐた。それらが、取次の門番に對してそれ相當な心付けを持つて來たことは言ふまでもない。

現銀や衣料、金器を持つて來たのは、夫人の言ひ付があつたから、みんなそのまゝ直ぐ奥へ持つて行つた。その他の物は晩に、芝居が濟んだあとで帳面付けをやつた。夫人は自身で點檢して見て、それでやつと安眠した。

またたくの間に、三日經過した。黃道台は役所に出た。數日してから、祝ひに來て與れた同輩の所へ一々禮を言ひに行つた。それからこつそり人を介して郭道台の所へ銀一萬兩を屆けたのであつた。で郭道台は彼のために後始末をキレイにつけてやることにした。それは

「事件は何か理由があつて表面に出たものであるが、調査した所、證據が存しなかつた」

といふことにして制台へ返事を出した。その制台は讓院の手紙を受取り、面子といふこともあり同情ある處置を取つて貰つて、問題は不問に附されたのであつた。

斯くて黃道台は以前と變りなくその職に當つてゐた。讓院が彼を信用してゐるため、牙厘局の老總、保甲局の老總洋務局の老總など、みんな彼の自由になつた。眞に錦上花を添へるといつた風景で、省中彼に比較されるものとては外に見出せなかつたのだ。（つゞく）

婦人倶樂部（五月號）

寫眞記事に「お開帳の善光寺參詣满部」を取上げたのは思ひつきだ。全國に信者の多いこの大伽藍の御開帳を控えてその豫備知識を與へるにも大に役立つであらう。▼これと一緒に二、二六事件寫眞畫部のあるのは取合せはとにかく國民に殊に婦人の間にある大事件に眞相を知らせるに好都合である▼本文の方にも一二二六事件をめぐる感話、悲話を語る座談會」があり一層この意義を明にしてゐる面白いのは「婦人新職業の變り種探訪」余り人に知られない職業尖端職業を集めてゐるがスクリプトガール其他の最も新しい職業はスペースを割いてゐるのは賢明だ▼「夫の失業中生活を支へた苦心」「實話高田浩吉出世小唄」「質屋の番頭さんばかりの座談會」其他中間物に大馬力をかけてゐる▼附錄は「夏の新型子供服婦人服の作り方」「洋裁の家庭獨習書」の二冊に例の漫畫本、量から見て大したもの▼婦人子供服は、流行に後れぬこと作り易いこと、一般向きの型であること安いことなどが條件として數へれるがその意味では、この附錄は近來出色のものといへよう

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲評論（四月十八日號）時評大塚「中國紅軍の爲整化零戰術」は時節柄注目される、爲整化零戰術とは例のゲリラ戰法の事、論旨は赤軍の地下工作を輕視すべからずと結んである、外に土井「支那幣制改革後の貿易」があり、小泉「滿洲國内の普通銀行整理に就て」は日滿經濟ブロツクの進行と滿洲國の形態整備に伴ひ流通過程の再編成が、或は外部からの、或は上からの要請によつて行はれその結果舊來の生產關係と流通過程の間の關連が搖解し、そこに矛盾が發生してゐるのを指摘してゐる、小山貞知「再分割の危機に立つ支那と我が對支政策」は蔣介石政權の動きを興深く解説したもの先頃大連協和會館での講演の要旨である、沼鐵治「蒙古人部落を訪ねて」下」原幸夫「中支遊記」あり、後者は若き南京のモデルノロヂオとも言へやう、眞井潔「民衆の意識の向上」は協和會熱河省聯協議會を觀ての感想である、三一頁に同評論同人の北支問題講演會の記事、この雰圍氣を羨しく思つた（大連市山縣通一八、滿洲評論社、十五錢）

△熱河興業銀行史　從來金融に關する著書を缺いでゐた熱河、その熱河に於いて過去十六年に亘り數次の波瀾の中を處して來た興業銀行とその各種の事業の歷史を百二十九頁に亘つて叙述した本書はすぐれた滿洲經濟研究の資料として推薦出來る（滿洲中央銀行調査課發行）

△人の噂（五月號）人物評論の方は兎も角、堀口九萬一の「西洋と東洋の場合」八杉貞利の「露人のプロフイル」三上射鹿「伯林の一夜」弓館小鰐「無錢保津川下り」等の隨筆は國際性を取り入れてゐて面白い、讀物で村岡雄「獵奇金公館事件」は奉天での話だが筆が練れてゐない（東京神田區駿河台二ノ一。月且社、三十錢）

家庭医李

これからぼつぼつ頭を擡げる脚氣

最近推奬される微生物 内服による豫防對策

脚氣は春夏の氣溫上昇し空氣の濕潤する頃に多くなる病氣ですが、これは高溫や濕潤が體溫の發散を妨げ、體內の新陳代謝を亢める爲にビタミンBの消費量が

激增

しその供給が間に合はなくなるからです。今年の様に雪の多い年には、少し暖氣を催して來ると、空氣は非常に濕潤となるので、脚氣の發生も例年よりも多いのではないかと憂慮されてをります。

脚氣の原因がビタミンBの缺乏と判明した今日では、その豫防や治療の方法もすこぶる簡單な様に思へますが、一般原因ははつきりしてゐても、體質や素因によつて種々の場合があるので、實際にはそれ程簡單には行かないのです。

脚氣の豫防に玄米や七分搗米の常食が、相當の効果があることは認められてゐますが、人によつては常食は困難なこともあり、胃腸疾患者に對しては多少消化上の

難點

もあり、無條件で推奬出來ぬ憾みもあります。かういふものは常食してこそ効果があるので、脚氣になつて急に喰べ出しても、あまり効果はありません。

また最初は單純なビタミンB缺乏症であつても、慢性になつて來れば胃腸障害や循環障害、またそれに伴ふ全身的衰弱から結核等の素因のある人は、さういふ病氣も惡くなつて來るので單にビタミンBを與へただけでは容易に治らないのです。

そこで近來は豫防にも治療にも効果のある、活性ヘーフエ菌劑が用ゐられる様になり、大いに成績を擧げてをりますが、最も多く用ゐられ、効果の傑れてゐるのは有名な若素(わかもと)であります。

若素(わかもと)はビタミンBを含有する點に於ても、生物界唯一といはれますが、その上純正活性ヘーフエ菌獨特の、細胞原形質賦活作用といつて、病弱細胞に活力を供給して障碍されてゐる機能を健全にする作用が著るしいので豊富なビタミンBの補給で、脚氣の原因を除去する一方、脚氣から發生した種々の症狀、即ち浮腫、麻痺、胃腸障害等をも消退させ、ひいては衰弱、貧血、結核等をも豫防する事が出來るので、これから脚氣季節を控へて各御家庭に御常用をお薦めし度い藥であります

リンゴと 便秘、下痢

米國では小學生に「毎日林檎一個づつ喰べよ」と敎へてゐるほど林檎は榮養上重大な意味のあるものです。第一これは便秘の豫防にもなるし、煮たものは反對に下痢止めにもなるといふ面白い効能をもつてゐます。但し、腹痛を伴つて多少堅い便のある様な便秘には却つて之を助長する餘弊があります。林檎を喰べて惡いといふ病氣は甚だ少いのですが強ひていへば胃潰瘍胃酸過多症等の酸味を避けねばならない病氣には良くありません。

若素(わかもと)は變調を來してゐる腸胃の組織細胞を調整しますので、便秘にも胃潰瘍胃酸過多症にも効果があり、併も榮養素の種類も林檎より多いのですから、治療にも榮養にも林檎以上に重寶です。

難産の脅威! 姙産婦の脚氣は ―どうして防ぐ?―

ビタミンBの擴大圖

姙娠すると、胎兒と二人分の榮養、排泄を負擔しなくてはならないので、新陳代謝が俄に昂まり、ビタミンBの消費が激增する上に胎兒の壓迫から胃腸、心臟、腎臟等の機能に障碍を起し易く、爲に全身に浮腫が來て脚氣同様の症狀を現はす事が少くありません。

これは姙娠脚氣と呼ばれるもので、普通の脚氣よりも

症狀が惡化し易く

その爲に難産となつて母體を危險に陷らせ、幸ひに分娩しても貧血や衰弱の爲に肥立ち惡く餘病を併發し、赤ちやんも丈夫に育ち難いのであります。

これを防いで母體と胎兒の健康を確保し、安産に導くにはどうしたらよいかと申しますと、まづ急激に亢まつた新陳代謝に具へる爲に、ビタミンBを補給しなくてはなりません。最近の學説によれば、姙娠あるひは授乳中の婦人は常人の二倍のビタミンBを要するとのことです。

次に胃腸を活潑にして、母體と胎兒の双方の榮養を旺にすると同時に、利尿及び便通の圓滑を圖つて老廢物の排泄を促す一方、老廢物の堆積から生ずる

有毒物を分解し

排除する作用を昂めることも必要であります。

かういへば如何にも厄介で、一般の人が手輕に豫防は出來ない様に考へられますが、實は誰でもきはめて簡單に豫防出來る方法があるのです。といふのは近來各大學病院や有名な産婦人科の先生達が推奬されてゐる、活性ヘーフエ菌劑若素(わかもと)の內服であります。

若素(わかもと)は前段に述べました様に、生物界唯一といはれるビタミンBを含有する外に、ビタミンA・D、十數種の活性酵素、植物ホルモン等があつて、胃腸を活潑にし、便通を整へ、體內の老廢物の分解排除を促す作用があります。またリヂン、ヒスチヂン、カルシウム、グリコーゲン等、胎兒の發育を助ける

貴重な榮養素をも

豊富に含んでゐて、生れて來る赤ちやんの體質をも丈夫にしますが特筆すべきはそれ等の成分が協力して發揮する、細胞原形質賦活作用であつて、衰弱してゐる組織細胞中に、新しい活力を呼び起し胃腸は勿論、心臟、腎臟、肝臟等すべての機能の衰弱を除去する點であります。

これは生物劑中でも特に、純正活性ヘーフエ菌劑に獨特のものであつて、若素(わかもと)の如く數十種を算するヘーフエ菌中から最も優秀なものを選び、特許方法によつて製劑したものに限り、期待出來る効果でありますから、絶對に模倣は出來ないのですが、近來その聲價を利用し、効果等しからざる類似品(酵母、麥酒酵母といふも同様です)を販賣するものがありますから御注意を要します。

本劑の發賣元は東京市芝公園大門內、わかもと本舖榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)で藥價は廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ廉價です。

脚氣衝心に續く☆☆☆ 喀血と苦闘する

(北海道) 藤村筆子

(前略)顧みれば昭和九年の三月、M銀行の採用試驗に應じ、愈々身體檢査を受けることになりました。(中略)意外にも私を診察して醫師が、重々しく口を開いて發した言葉は「貴女は胸を大分惡くしてゐる、就職どころか絶對安靜が大切ですよ」との警告、その瞬間私の眼前からは希望も光明も消失せて(中略)貧しい私は經濟上どうしても專心療養することを許されません。

生活の爲には餘儀なく某氏の店に病軀を鞭打つて(中略)更に夏を迎へて酷い脚氣にやられ、昭和九年九月二日の夜、私は脚氣衝心を起して危く死なんとしました。急遽醫師を招いて注射して貰ひ、危機を脱しましたが、最早私は立つ事も出來ず(中略)九月十三日、十四日、十五日及び十九日の四回に亘つて、夜中今度は喀血したのであります。

かうして死線を彷徨すること三週間、十月に入つて私の病氣を傳へ聞いた親友Kが、態々札幌から持つて見舞つて呉れました。それが「錠劑わかもと」であつたのです。(中略)

だまされたと思つて服めと申しましたので兎も角服用し始めました所が脚氣で便秘してゐたのが立派に氣持よく通じがありました。二日三日と服む間に腹の張りがとれ、殆十日ぶりかに安眠することが出來る様になり、その上食慾が非常に進んで(期待に背かず闘病の好伴侶として、その使命をよく果して呉れ、脚氣も何時しか癒つてしまひました。(後略)

本社主催 第三回 新京硬式野球大會 第三日

大會既に三日目迎へ 球戰情調沸騰す

けふ地方部對鐵道部の對戰 愈よ准決勝に入る

第三回新京野球大會も第三日（廿七日）を迎へたけふも恵れて絶好の大會日和、强豪鐵道部對地方部晴れの准決勝戰だ、相變らずの觀衆は早くも場を埋めてこゝに本大會もいよ〳〵佳境に入る、かくて午後四時十時物凄い拍手喚聲を浴びて平田（球）甘利（壘）兩氏審判の下に鐵道先攻で開始されたが、後半鐵道部の反撥も空しく亂戰また亂戰裡に地方部堂々鐵道部を壓し十A對九で凱歌を奏した

シーソーゲーム演じ 地方部辛勝す

一進一退の熱戰に觀衆湧く

鐵道	1	0	0	0	0	0	4	4	0	9
地方	2	1	0	0	0	1	0	4	2A	10A

〔經過〕

一回（鐵）藤戸三飛、山根四球、淺沼三振、古賀二飛惡投に生き高橋二壘左を拔く安打に山根生還一點を先取す、田中四球に出で二死ながら滿壘のチャンスを迎へたが平野の遊飛に田中封殺（地）樽美三飛惡投に生き小淵の二飛は野手躊躇して兩者生き川田四球で無死滿壘の好機を迎ふれば釘貫第二球目を中前に安打し樽美を還し此間小淵二壘から一擧本壘を衝かんとして刺さる、江畑二飛、中村の三壘越テキサスは二壘打となり川田生還一點をリードせしも船澤二飛

二回（鐵）山根弟中飛、吉村三振、藤戸四球に出でしも二盜を企て刺さる

（地）伊豆原三振、水島二遊間安打、樽美遊飛水に生き小淵三遊間安打にた島一擧生還、川田三振、釘貫中飛

三回（鐵）山根兄二飛、淺沼三振、古賀中飛（地）江畑遊飛惡投に生き中村遊擊左に安打、舟澤四球に送られ、無死滿壘の好機を迎へたが伊豆原二飛の時中村離壘して重殺水島三飛

四回（鐵）高橋二飛、田中四球に送られたが平野三飛に空し

（地）樽美投飛、小淵遊飛川田二飛

五回（鐵）（地方水島退き矢野代る）山根弟四球に出で吉林投前バンドに山根弟二進せしも後援續かず

（地）釘貫三壘に强襲安打を放ち續く江畑中前テキサス（鐵道藤戸遊擊高橋投手に變る）、舟澤投飛、伊豆原三振、水島遊飛

六回（鐵）淺沼遊飛、古賀投飛、高橋四球に出たが田中二飛

（地）樽美遊飛、小淵中前安打に出で投手一壘暴投に小淵二進、川田四球、釘貫二壘强襲安打に小淵生還、江畑遊飛、中村遊飛

七回（鐵）平野三遊間安打に二盜成功、山根弟四球、吉村のバンドは邪飛となり藤戸左飛、山根兄三飛二壘手落球して滿壘となるPH淺香遊擊强襲安打に平野、山根弟生還、續く古賀左前安打して山根兄淺香一擧生還一點をリードす高橋三邪飛

（地）舟澤中飛、伊豆原左飛、矢野遊飛

八回（鐵道こ芦井投手に變る田中四球平野死球山根弟四球に送られ無死滿壘の好機を迎へ續く吉村四球に送られ田中生還、藤戸三飛失に平野山根弟共に生還、藤戸二盜を企て投手牽制球に倒る、山根兄の三飛は野手吉村を二壘に封殺せんとして二壘手の落球しこの間山根弟吉村ともに生還淺香古賀ともに三飛、（地方）樽美三邪飛、小淵二壘强襲安打川田四球、釘貫遊飛、江畑四球に滿壘の好機を迎へ續く中村三壘線上に沿ふ安打に小淵、川田生還、續く船澤右翼越三壘打に江畑、中村ともに生還、伊豆原遊飛一點の差となり試合は白熱化す

九回（鐵道）高橋投飛田中左飛、平野二飛（地方）矢野樽美ともに四球を得、小淵の投前バンドに走者二、三壘による、川田に飛左藤井生還同點となる、釘貫遊擊右を拔く安打に矢野生還地方に凱歌あがる、閉戰六時十五分

鐵道		打	得	安	犠	盗	三	四	失	殘
1	藤戸	4	0	0	0	0	0	1	0	0
2	山根兄	4	2	0	0	1	0	0	0	1
4	淺沼	3	0	0	0	0	2	0	0	0
8	淺香	2	1	1	0	0	0	0	0	0
5	古賀	5	0	1	0	0	0	0	1	2
7	高橋	4	0	1	0	0	0	0	2	1
9	田中	2	1	0	0	1	0	3	0	1
8	平野	4	2	1	0	2	0	1	0	1
3	山根弟	1	2	0	0	1	0	3	0	1
6	吉村	2	1	0	1	0	1	1	0	0
		31	9	4	1	5	3	8	4	7

地方	打	得	安	犠	盗	三	四	失	殘
樽美	5	2	0	0	0	0	1	1	2
小淵	5	2	3	0	0	0	0	0	1
川田	3	1	0	0	0	1	3	0	0
釘貫	6	0	3	0	1	0	0	1	3
江畑	4	1	1	0	0	0	1	0	2
中村	5	1	4	0	0	0	0	3	2
船澤	4	0	1	0	0	0	0	0	2
伊豆原	5	0	0	0	0	2	0	0	0
水島	1	1	0	0	0	0	1	0	1
矢野	2	1	0	0	0	0	1	0	0
	35	10	1	0	1	3	7	5	13

後記

源川榮二

如何に同志打ちとは云へ戰ひには絶體に眞劍でなければならぬ、地方新人連の此日の精神多少緊張味を缺ぎたるは兄弟との戰ひなる故に多少の了解はつき得るも意氣に乏しいいゝかげんな氣持で試合上に望んだ結果は打つべき時に打たず、待つべき時に待たず後半鐵道の追擊に會ひ、形勢逆轉するの場面に遭遇し、狼狽其の極に達し、幸ひ高橋投手の不調に九回挽回の氣運を作り得たるもの、高橋投手にして今少し氣を入れたる投球振りに會へば一たまりなく瓦解するは火を見るより明らかにて、この機會に紙上をかり運動精神につき若い選手諸君に一言する次第である、野球に依らず全ての運動競技選手に取つて技量の大切なるは論を待たざるもより以上に重要なるものは實にその精神である選手諸君の價値は一つに精神の如何にある事を良く考へてもらひたい

野球も一つの教育である以上選手自身に取つても一つの修養である、試合上に臨んだ以上武士の眞劍勝負と同じである、あくまでも正々堂々弱きをあなどらず强きにくじけず意氣と熱で戰はねばならぬ、觀衆本位の野球は絶體につゝしみ自個の修養の爲めのベースボールであらねばならぬ、斯る精神の下に技を練り弱を爭つてこそ武士道に立脚した眞の日本的野球を作り上げるものである、野球は成程外國より傳へられたものではあるが吾々は外人の野球でなく日本人の野球を作り上げる事を心掛けねばならぬ

多言いさゝか選手諸君の爲めに所感を述べる次第で運動精神に立脚して新京野球界の爲め切に自重を祈る次第である

野球大會三日

七回表鐵道軍の奮戰に全軍淺香生還す

綴方の一等當選賞金で "甘栗を買つて下さい"

室町校二年生中山章君から ケイサツへお願ひ

けさ新京署保安係につたない假名で"ケイサツサマ"と記した青封筒が配達され、係員が開封してみると次のやうな手紙が便箋にかゝれてあつた

三笠町一丁目十八番地室町小學校二學年中山章ボクハアマグリ太郎ノツヅリカタケンシヤウデ一タウシヤウ五圓ヲイタダキマシタ、本ヲカツタアマリ二圓カハイサウナ子供ラニ甘グリカウテ上ゲルヤウニタノミマス

二十六日

ケイサツサマ

（手紙原文のまゝ）

と書かれて國幣一圓札二枚が届けられたので、同少年の純情に感謝した保安係では早速少年の意志通り貧民救濟資金にあてることになつた

滿洲軍用犬協會總會

滿洲軍用犬協會新京支部總會は二十六日午後三時から市內室町小學校で開催された

開會にさきだち午後二時から校庭で會員犬の各種野外訓練を行ひ午後三時から會議に移つたが

當日は關東軍獸醫部員加藤有馬兩氏、支部幹事高月、增崎兩氏高月書記會員多數出席丸山常任幹事代理高月幹事から支部事業報告、昭和十年度決算

▲收入―寄附金百三十九圓五十錢、經常勘定五千七百八十五圓八十六錢、計五千九百二十五圓三十六錢

▲支出―受託金百十七圓六十錢、經常勘定千二百二十八圓九十一錢、事務費千五百五十一圓七錢、訓育費千六百九十二圓六十四錢、十一年度へ繰越金千三百三十五圓十三錢計五千九百二十五圓三十六錢

を說明全會一致異議なく承認共進會開催期日を五月三十一日に延期の旨報告ついで增崎幹事より

常任幹事（庶務）向井氏吉林に轉勤其の後任として中銀宮川氏を、軍獸部石坂幹事の後任として有馬氏を推すことに決定、加藤、丸山折田三常任幹事の辭表は撤回していづれも幹事として留任に決定

事業の擴大强化につき現在の幹事十五名を二十五名に增員することゝし會員のうちより中元、高橋（光）金丸、麻生

天然痘に御注意

四月に入つて附屬地に廿名 新患者續出の有樣

日滿衞生當局必死の豫防宣傳も尻目に每日一人、二人の新患者を出してゐる國都における天然痘は最近益々その猛威を逞うしてゐるが二十五日の如きは左記五名の新患者が發生した

▲三笠町四丁目奉天警備會社內寺元武男氏（二五）は二十一日▲蓬萊町四丁目十二號生田目冷子さん（二）は二十三日▲曙町四丁目十三番地趙炳華（三八）は十三日▲室町三丁目一番地交通會社自動車運轉士片桐金作氏（三三）は十九日▲富士町二丁目二十六番的建築材料商池田兎三郎氏（四七）は廿三日いづれも發病廿五日天然痘と確診隔離された

なほ二十七日には鐵道北春日町六丁目三番地奉天鐵工所から守井依右衞門（三一）三好義隆（二一）の兩氏がともに天然痘と確診隔離されこれで本月には入つて天然痘新患者が附屬地內から二十名發生してゐる

賽馬ガラ狂騷曲

一人は國防獻金へ 片や俄大盡は警察の御厄介

春の話題は競馬でスッタスッタで持ちきりであるが祝町四丁目十番地中野ミネさん（四三）はきのふの競馬でぽんと四百五十圓ガラで儲けかへり道に警察に寄つて國防獻金に二十圓寄附した

祝町三丁目五番地ノ二武藏屋漬物屋外交員伊澤春男君（三一）―假名―さる二十二日の賽馬で同じガラで三百餘圓儲けたまではよかつたがかへりに一杯どこでもひつかけたかしたゝか醉ひつぶれ方々に手の切れるやうなお札をふり撒いて狂人じみてゐるので警察署員が發見し漸くうちが判つて實家に連れかへされた

北村、中尾、岩橋、西尾、藤井、久保田の十氏を推薦午後四時終了それより記念公會堂にて幹事會を開き共進會並に支部移轉に伴ふ寄附金募集其他を協議、共進會寄附金募集に關しては五月一日午後五時より日滿軍人會館にて更に幹事會を開き具體案を決することゝし午後六時過ぎ散會した

大經路の藥火事

二十七日午前十時二十分ごろ大經路十六號藤山盛商店裏庭藥置小屋から發火藥三束、板塀二坪程燒却し同四十分鎭火した、日滿軍警等の緊張せる折柄とて消防隊、消防署、軍警等出動し一時は大混亂を來した、原因については目下領事館警察署で調查中である

奉祝風揚大會の日は迫る

天長節奉祝日滿風揚大會はいよ〳〵明日に迫り長崎、高知新潟、愛知の各縣人會は特急便でわざ〳〵郷里から獨特の凧をとり寄せたり一般市民各團體でも觀衆をあつと云はせやうと秘かに製作を急ぐもの各商店の廣告大凧も數十製作

大陸から腸チブス 保◇菌◇者◇出◇る

さる二十三日新京署御生係で行はれた接客業者の健康診斷で檢便の結果日出町二丁目八番地大通棧から東一條通りカフエー大陸通勤女給齋藤ミヤさん（二七）は腸チブス菌保菌者と二十七日新京保健所で確診され直ちに新京醫院に隔離、カフエーは大消毒で大騷動を演じた

新京金融組合定時總會

新京金融組合定時總會は二十七日午後三時より記念公會堂集會室に於て開催されたが組合員出席者約七十名、委員出席者八百六十名、昭和十年度貸借對照表、財產目錄、事業報告書及損益計算書剩餘金處分案並に監事の意見書承認あり、定款第五條中「商埠地又ハ城內」とあるを「新京特別市」第二十六條中「十人以上」とあるを「二十人以上」に夫々改め、第三十條中「地方流通硬貨」を削除することに決定、次いで左の如く役員改選が行はれた

一、新京組合（組合長）赤羽一二（新）（監事）彼末德雄、前田伊織（新）（評議員）近江清一郎、今井覺太郎、大本六二、丸山直助、茅本喜一、松中林四郎治、杉尾正一、田益太郎、後藤藤作、山下藤藏（新）

一、ハルピン支所（監事）辻光（評議員）島崎龜藏

經王寺開宗會並 鬼子母神大祭

曙町日蓮宗經王寺に於ては明二十八日宗祖日蓮大上人が房州小湊淸澄山旭ケ森に於て立教開宗を宣言された聖日に當るので午前四時より西公園忠靈塔前に於て日の出參拜の行事を營み引續き午後一時より鬼子母神大祭を本年中山大荒行堂五行成滿の大驗者馬場泰眞師を招き左の通り執行する由多數御參詣を乞ふと

一、午前九時より午後四時まで特別祈禱

一、午後一時より法話並日滿兩國々禱會及在滿派遣軍隊武運長久祈禱

奉納弓道大會出場希望者へ

新京滿鐵弓道部では來る三十日招魂祭には正午から祭場において奉納弓道大會を開催するから有段無段を問はず多數參加を歡迎すると

籠拔け詐欺自首

原籍廣島縣尾の道市土堂町海岸通り梅枝町三丁目某家具屋大工職人大棚男（二四）假名―はさる二十日午後三時ごろ兄弟弟子二名を誘つて西四馬路材木商春茂永號から木材一車時價五十五圓を積出し材木は室町小學校橫に降し代金は大同大街の自宅で支拂ふからと電々會社の表玄關口に待たせてこつそり裏から逃げ出した籠拔け詐欺を喰つた被害者は早速小學校橫の材木をとり戾しに行つたがすでに材木はどこかに運ばれてあつた、屆け出により新京領事館警察署で犯人搜查中大棚は兄弟子から非を諭され材木はかへし自首して出て來た

今日の試合

（入場無料）

新廳舍―舊廳舍

開始四時十分

審判高橋（球）小淵、川田（壘）

氣を見せてゐる

春季第一次競馬 五日目成績

▲第一競馬（二、六〇〇米、四頭）1双葉（二分三七秒二）2鳥取3千駒、配當―單六圓二〇、複無シ、搖彩票1一四圓九〇、等外一圓二〇

▲第二競馬（一、六〇〇米、七頭）1三初（二分二一秒二）2空來3晴流、配當―單一二圓五〇、複1入圓七〇2二二圓八〇、搖彩票1四三圓五〇2一〇圓八〇、等外二圓七〇

▲第三競馬（一、八〇〇米、九頭）1駿玉（二分三四秒）2廣州3菊勇、配當―單九圓六〇、複1六圓二〇2六圓二〇3四〇圓四〇、搖彩票1一二〇圓九〇2三四圓五〇3一七圓二〇、等外七圓二〇

▲第四競馬（一、八〇〇米、八頭）1阿彌山（二分二八秒三）2一天3若竹配當―單勝馬無投票ノ爲四圓宛購買者ニ割戾、複1一六圓六〇2六圓3五圓六〇搖彩票1二二四圓2六四圓3三二圓、等外一六圓

▲第五競馬（二、〇〇〇米、四頭）1春勇（二分五一秒三）2實洋3有田、配當―單三五圓三〇、複無シ、搖彩票1一一五圓二〇、等外九圓六〇

▲第六競馬（一、六〇〇米、七頭）1新京一光（二分二五秒一）2劍菱3勢、配當―單八圓五〇、復1八圓一〇2二七圓五〇、搖彩票1一八一圓七〇2四五圓四〇等外一一圓三〇

▲第七競馬（一、六〇〇米、五頭）1新京如龍（二分一三秒四）2二群3金鶴配當―單九圓七〇、複1六圓四〇2八圓九〇、ガラ1二一七圓六〇2五四圓四〇等外二二圓六〇

▲第八競馬（一、八〇〇米、五頭）1金飛實（二分二七秒八）2金貫3新長、配當―單六圓六〇、複1五圓四〇2六圓七〇、ガラ1二七六圓四〇2六九圓一〇等外二八圓八〇

▲第九競馬（二、〇〇〇米、九頭）1生花（二分五一秒二）2信貫3偵引、配當―單四四圓五〇、複1六圓二〇2五圓七〇3七圓四〇、ガラ1六〇九圓二〇2一七四圓〇3八七圓〇〇等外三六圓二〇

▲第十競馬（一、六〇〇米、七頭）1大通日昇（二分一七秒四）2矢吹3近江配當―單一八圓、複1九圓六〇2一六圓八〇、ガラ1三三七圓九〇2八四圓四〇等外二一圓

▲第十一競馬（一、六〇〇米、十二頭）1新京鶴（二分一四秒二）2新勝3天成單七五圓六〇、複1三二圓一〇2一三圓二〇3一七三圓六〇ガラ1六二〇2一七九圓二〇3八圓九〇等外二四圓八〇

▲第十二競馬（一、六〇〇米、六頭）1十八番（二分二三秒六）2白和3一駒配當―單一七圓、複1九圓二〇2一〇圓九〇ガラ1二八四圓一〇〇等外二二圓二〇

▲第十三競馬（二、〇〇〇米、六頭）1芦谷（二分五五秒二）2勝3白鶴配當、單一七圓八〇、復1九圓五〇2七圓〇ガラ1二八六圓二〇2七一〇五圓等外二二圓四〇

故鹿野氏令孃一週忌

滿鐵醫院齒科醫長鹿野八千代氏令孃故和枝さんの一週忌法要を來る三十日午後三時より曙町四丁目淨土宗長春寺に於て營む由

大原氏內地へ

新京地方委員議長辯護士大原萬千西氏は一ケ月の豫定で昨午後入時新京發列車で內地に出張した

馬車の忘れ物

▲四月二十一日中央通より南廣場迄紙包一ケ（サージズボン一枚在中）大經路警察署保管▲二十三日和泉町より驛前迄露西亞毛布（赤色）一枚同

探偵小說 **殺人技師**

森下雨村

(禁上映 上演)

茅場紫水畫

八一

第二の殺人(一)

「ちれつたいね!」お繁は今火をつけたばかりの煙草を、チューッと灰皿の中に突つ込むと、

「ねえ、耕ちやん、あたしにはもう大體見當はついてるんだよ。一體、今日のあの女は何者なんだよ。どうせお前さんのことさ。今更、嫉妬なんか燒きやしないのだから、あつさりと話したらどう?」

「馬鹿な」耕太郎ははじめて力のない顏を上て、「そんな色つぽい沙汰ぢやないんだ。」

「どうだか。それにしちや、今日、あの女にあつた時の、お前さんの樣子たらなかつたよ。」

その時、ふいに扉をたゝく音がした。耕太郎がぎよつとしたやうに腰を浮かして立ち上がると、お繁は大儀さうに扉の方に振向ながら

「誰だい?」と訊ねた。

「すし屋でございます。鮨司を持つてまゐりました。」

「すし屋?こちらぢや鮨司なんか、注文しやしないよ。」

「でも、十二號室はこちら樣でございませう。」

「十二號は此方だが、鮨司なんかあつらへた覺はありませんね」

「でも、確かに十二號のお客樣が——」

「うるさいね。」

お繁は立上ると扉を開いた。とすし屋の出前持ちが、岡持をさげてつかつかと部屋の中へはいつて來た。

「おいおい、お前さん困るわね。こちらぢやないといふのに」

「へえ、でも確に十二號室と仰有つて、電話で御注文がありましたので——旦那樣がおかけになつたのぢやありませんか?」

耕太郎は面を反向けたまま、頭を横に振つた。出前持は、不思議さうにその顏を、じろじろと覗きこんでゐたが、

「どうも困つたな。こちらぢやないとすると、折角の鮨がローズになつちまうんで——。」

「そんなこと。こつちの知つたことぢやないよ。事務所でよく聞いてみるがいゝぢやないの」

「事務所でも、こちらだといふんですがね。困つたなどうも。」

出前持はぶつぶついひながら、それでも諦めたやうに部屋を出てゆかうとしたが、扉のところでもう一度耕太郎の方へ、鋭い視線を送つてゐた。

「ちや仕方がない。では、お邪魔さま。」

出前持が出てゆくと、お繁はちえつと舌打ちをして、扉にぴたりと鍵をおろした。そして耕太郎の方へ戻つてくると、ぢつとその顏をのぞき込んだ。

「耕ちやん。お前さん、何かお上のこわいやうなことをしてやしない?」

お繁が低い、それでゐて根強の心を見拔いたやうな聲でいつた。

耕太郎は、それを聞くとどきんとした風で、體を一歩後へひいた。そしてあわてゝヂンの盃を口へもつていつた。

「ほゝゝゝ。男の癖にどうしたつていふの。あんな出前持にまでびくびくしてさ。あたしや、この間から氣がついてゐるんだよ。臆病でだつて、始終人を氣にしてたわね。一體何をしでかしたといふの?何もかも白状したらいゝぢやないの。から見えたつて、お前さんのためなら惡いやうにはしないつもりよ。」

お繁の、その親身な言葉を聞いてゐる中に、耕太郎の心は、久し振で急に輕くなつて來た。さうだいつそのこと、何もかもこの女に話してしまはうか。その方が、どれだけさばさばするかしれない。

耕太郎は、唇へもつていつた盃を、ぐつと一息に飲みほした。

◎商業登記

一○株式會社明工社變更(支店)

一昭和九年五月三十一日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス 東京市麹町區内幸町一丁目三番地一大阪ビル新館内

一取締役田中關四郎山根道一ハ昭和十年十二月二十六日辭任ス

一取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役左者ハ同日重任ス

岡田豐 東京市澁谷區代々木山谷町百二十五番地

川村秀男 同市中野區宮園通二丁目五番地

濟原清 同市澁谷區上智町四十一番地

會社ヲ代表スヘキ取締 岡田豐

一監査役左者ハ同日重任ス

今泉永佳 東京市澁谷區衆樂町二十五番地

右昭和十一年三月十七日登記

合資會社東華窯業變更

一社員飯田伊之助ハ昭和十一年三月十日其責任ヲ無限トシ變更ス

昭和十一年三月一日當館管内ニ支店ヲ設立シタルニ付左ノ通登記ヲ爲シタリ

一商號 株式會社大阪電氣商會大阪暖房商會

一本店 大阪市西區江戸堀南通一丁目三十七番地

一支店 東京市京橋區銀座西二丁一番地ノ四號名古屋市中區南武平町一丁目拾四番地滿洲國新京永樂町一丁目九番地

一目的 一、電燈、電力、發電所、變電所、送電線路、配電線路、電話、電鈴、信號、電氣時計、電燈照明ノ諸工事請負二、煖房、冷房給湯、給氣、換氣、濕温度調整給水、衛生設備ノ諸工事ノ請負三、電氣、煖房、冷房、衛生工事用並ニ諸機械器具、材料ノ販賣

一設立年月日 昭和八年十月十日

一資本ノ總額 金十萬圓

一一株ノ金額 金五十圓

一各株ニ付拂込ミタル株金額 金五十圓

一公告ヲ爲ス方法 本店々頭ニ掲示ス

一取締役ノ氏名住所

菅谷元治 大阪市西區江戸堀南通一丁目三十七番地

菅谷三郎 兵庫縣川邊郡立花村塚口九百八十番地ノ十九

菅谷知己 名古屋市東區振甫町三丁目三十七番地

永塚竹三郎 神奈川縣川崎市上丸子千四百八十一番地

永田鼎三 大阪府豐能郡熊野田村北上野一百四十二番地

一會社ヲ代表スヘキ取締役 菅谷元治

一監査役ノ氏名住所

高松亥太郎 名古屋市東區田代町北畠十六番地

本村安太郎 大阪府豐能郡熊野田村北上野百四十二番地

一存立の時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年

一昭和九年一月十二日大阪市西區靱南通一丁目十六番地合資會社大阪電氣商會大阪暖房商會ヲ合併シタルニ依リ左記事項ヲ追加ス

一合併ニ依リ增加シタル資本總額金十萬圓

一合併ニ依ル各新株ニ付拂込ミタル株金額 金五十圓

一合併決議年月日 昭和八年十一月十日

右昭和十一年三月十八日登記

商號新設

一商號 國際ネオン

一營業種類 ネオン製作及施行

一營業所 新京特別市新發路十二號

一商號使用者ノ氏名住所 新京特別市新發路十二號 藤間福三郎

横濱正金銀行變更(支店)

一左者昭和十一年三月十一日取締役ニ重任ス

兒玉謙次 東京市麹町區九段二丁目三番地五

太久保利賢 東京市澁谷區向山町十一番地

岩崎小彌太 東京市麻布區鳥居坂町二番地

森村市左衛門 東京市芝區高輪南町三十三番地

一宮鈴太郎 東京市杉並區阿佐ヶ谷六丁目二百三十番地

武内金平 東京市赤坂區青山南町六丁目四十三番地

最上國藏 東京市牛込區矢來町十五番地

水津彌吉 東京市赤坂區青山南町六丁目七十二番地一號

柏木秀茂 東京市麻布區新龍上町六番地

矢野勘治 大阪市天王寺區南河堀町百十二番地

渡邊禮 東京市麹町區下二番町七十三番地

一左者同日監査役ニ重任ス

杉琢磨 東京市中野區大和町百十二番地

大塚伸次郎 東京市麹町區富士見町二丁目四番地四

池田仲博 東京市澁谷區原宿三丁目二百六十六番地

西巻畏三郎 東京市世田谷區三軒茶屋町百二十八番地

右昭和十一年三月十九日登記

●啓運工業株式會社變更

一昭和十一年三月七日取締役崔應廷ハ辭任シ同日左記ノ者取締役ニ就任ス

田代喜右衛門 神戸市葺合區坂口通七丁目五十七番地

一同日滿洲國新京豐樂路百三十九番地ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス

東京市日本橋區江手橋一丁目十五番地五監澤ビルヂング内

一同日本店ヲ左ノ通ニ移轉ス

滿洲國新京豐樂路百三十九番地

●合資會社三信洋行解散

一昭和十一年三月二十日總社員ノ同意ニ因リ解散ス

●支配人解任

一滿洲商事株式會社支配人千葉謹造ハ昭和十一年三月二十日解任ス

右昭和十一年三月二十日登記

●合資會社四平街昭和精穀所變更

一昭和十一年三月十一日無限社員蓼沼泰一ハ其持分全部ヲ三奈木重則ニ有限社員上杉榮ハ其持分全部ヲ山縣勝ニ讓渡シテ退社シ讓受ケタル者各左ノ通入社ス

金六萬五千圓及土地三筆建物六棟並ニ各備付機械器具其他此價格金六萬一千六百圓 無限 三奈木重則 四平街西區北七條通十番地ノ三

金二萬圓 有限 山縣勝 四平街旭町十番地

●商號新設

一商號 第一商會

一營業ノ種類 礦油及食料油ノ販賣

一營業所 新京朝日通四九番地

一商號使用者ノ氏名住所 藤村義雄 新京朝日通七九番地

右昭和十一年三月廿三日登記

●合名會社松昌公司變更

一昭和十一年三月十八日目的ヲ左ノ通變更ス

南滿洲鐵道株式會社並滿洲炭礦株式會社ノ指定スル石炭ノ販賣及之ニ附隨スル一切ノ業務

●合資會社亞細亞藥房變更

一社員黄南一、柳興龍ハ昭和十一年三月二十三日退社ス

●株式會社ヤマト商會變更(支店)

一昭和十年十一月二十七日新京室町四丁目四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス 新京中央通四十番地

一同日左ノ地ニ支店ヲ設置ス 大連市入船町四番地

●株式設立

一商號 滿洲興產株式會社

一本店 新京特別市大經路一號

一目的 不動產ノ取得並ニ貸貸、不動產ノ委託管理、不動產賣買ノ仲介、運送營業其他目的ノ遂行ニ必要ナル附帶業務

一設立年月日 昭和十一年三月二十一日

一資本ノ總額 金十萬圓

一一株ノ金額 金五十圓

一各株ニ付拂込ミタル株金額 金十二圓五十錢

一公告ヲ爲ス方法 本店店頭ニ之ヲ掲示ス

一取締役ノ住所

大原萬千百 新京永樂町二丁目十番地

近藤勝藏 同

王子衡 新京西三道街

一會社ヲ代表スヘキ取締役 大原萬千百

一監査役ノ氏名住所

都馬有恒 哈爾賓道裡外國五道街十一號

一存立ノ時期 昭和四十一年三月二十日迄

右昭和十一年三月廿五日登記

●支配人解任

一大通電氣工業合資會社支配人横山登ハ昭和十一年三月二十七日解任ス

●支配人選任

一支配人ノ氏名住所 松村治右衛門 新京大和通七七番地

一主人ノ氏名住所 大通電氣工業合資會社 同

一支配人ヲ置キタル場所 新京大和通七七番地

●商號新設

一商號 東京堂

一營業ノ種類 印刻印刷並材料販賣

一營業所 新京東二條通五十一番地

一商號使用者ノ氏名住所 吉澤賢治 新京東二條通五十一番地

右昭和十一年三月廿八日登記

●株式會社滿洲モータース變更(支店)

一取締役吉野實監査役井上德之助ハ昭和十一年二月二十九日各辭任ス

右昭和十一年三月三十日登記 在新京日本帝國總領事館

◎金融組合登記

●公主嶺金融組合變更

一監事淺野兼右衛門ハ昭和十一年三月十七日死亡ス

右昭和十一年三月廿八日登記 在新京日本總領事館